

初等日本語讀本

卷三

譯註本



南滿洲  
教育會  
教科書編輯部編纂  
滿洲文化普及會譯註

第二種  
初等日本語讀本  
卷三

自習書



凡例

一、本書ヲ南滿洲教育會教科書編輯部發行ノ(第二種)初等日本語讀本ノ自習用並ニ教授參考用トシテ編纂シタモノデアアル。

二、中段ノ本文ワ插繪ヲ省イテ原書ノ原文オソノ儘轉載シテ、振假名オツケタ。振假名ワ一課ニ於テ一回ダケツケルコトニシタ

三、上段ワ新出語句オ本文ノ上ニ並ベテ、ソノ解釋オ施シタモノデアアル。

下段ノ譯文ワ本文ノ意味オナルベク本文ノ形ニ近ク對譯シタモノデアアル。

四、各課ノ終ニ練習オ置イテ、本課ノ形式オ變エタ文ヤ内容ノ問答文等オ載セタ。本卷カラソノ譯文オ下段ニ附スル事ニシタ。

五、本書オ教科書トシテ取扱ウ際ワ、譯語・譯文ヲナルベク生徒等ノ自習ニ任セ、教師ワ日本文ノ話シ方、及ビ應用等ニ力オ注イデ貰イタイト思ウ。

凡例

一、本書作為南滿洲教育會教科書編輯部所發行之(第二種)初等日本語讀本之自習用、以及教授參考用而編纂者。

二、中欄免去插圖、將原書之原文如舊轉載、並附有註音字母。註音字母於每一課只寫一次。

三、上欄則列出正文之新出語、並有詳細註解。

下欄則為正文之譯文、為使與本文形式相同故取直譯形式。

四、每課完時皆有練習、內容則取本文大意、變其形式、或用問答形式等。由本卷起始譯文一概列於下段。

五、如用本書做為教科書時、譯語・譯文務必任學生自由自習、教師則須注意會話之方法及應用法等是為至禱。



(第二種) 初等日本語讀本 卷三 自習書 目次

一、四季……………	一	十一、ハイ……………	二〇
二、タネマキ……………	三	十二、草取り……………	二一
三、清明節……………	四	十三、犬ト鳥……………	二三
四、ミンナガ一生ケンメイ……………	六	十四、時計……………	二七
五、日が出タラ……………	九	十五、早起き……………	二九
六、遠足……………	一〇	十六、羊飼い……………	三一
七、オジイサン……………	一三	十七、鹽ト砂糖……………	三三
八、ギツコンバツタン……………	一四	十八、夕方……………	三五
九、カエル……………	一六	十九、廣っぱ……………	三七
十、小野道風……………	一八	二十、綱引キ……………	四〇

二十一、お祭り	四二
二十二、シバイ	四四
二十三、望小山	四六
二十四、竈祭り	四八
二十五、爆竹	五〇
二十六、滿洲國	五二
二十七、石炭	五五
二十八、ありときりぎりす	五七
二十九、かしこい母親	六〇
三十、新京	六二
三十一、花咲カシ、イ	六五

(補充教材)

一、考エ物	七一
二、ウサギ	七一
三、月の桂	七三
四、こびきさん	七四
五、牛と百姓	七五
六、水中ノ玉	七七

平假名五十音圖

あ(ア)	い(イ)	う(ウ)	え(エ)	お(オ)
か(カ)	き(キ)	く(ク)	け(ケ)	こ(コ)
さ(サ)	し(シ)	す(ス)	せ(セ)	そ(ソ)
た(タ)	ち(チ)	つ(ツ)	て(テ)	と(ト)
な(ナ)	に(ニ)	ぬ(ヌ)	ね(ネ)	の(ノ)
は(ハ)	ひ(ヒ)	ふ(フ)	へ(ヘ)	ほ(ホ)
ま(マ)	み(ミ)	む(ム)	め(メ)	も(モ)
や(ヤ)	(い)(イ)	ゆ(ユ)	(え)(エ)	よ(ヨ)
ら(ラ)	り(リ)	る(ル)	れ(レ)	ろ(ロ)
わ(ワ)	ゐ(ヰ)	(う)(ウ)	ゑ(ヱ)	を(ヲ)
ん(ン)				

濁音・半濁音

が(ガ)	ぎ(ギ)	ぐ(グ)	げ(ゲ)	ご(ゴ)
ざ(ザ)	じ(ジ)	ず(ズ)	ぜ(ゼ)	ぞ(ゾ)
だ(ダ)	ぢ(ヂ)	づ(ヅ)	で(デ)	ど(ド)
ば(バ)	び(ビ)	ぶ(ブ)	べ(ベ)	ぼ(ボ)
ぱ(パ)	ぴ(ピ)	ぷ(プ)	ぺ(ペ)	ぽ(ポ)

いろは歌

いろはにほへとちりぬるを  
 わかよたれそつねならむ  
 うゑのおくやまけふこえてあ  
 さきゆめみしゑひもせすん



(第二種) 初等日本語讀本 卷三 自習書

【四季】四時。

【春】春天。  
【夏】夏天。  
【冬】冬天。  
【イイマス】說、謂、稱作、叫作。

【三月】三月  
【四月】四月  
【五月】五月  
【六月】六月  
【七月】七月  
【八月】八月  
【九月】九月  
【十月】十月  
【十一月】十一月  
【十二月】十二月

【暖カ】溫和、溫暖。  
【暑ウ】熱、「暑イ」的變形。  
【涼シク】涼快、風涼。  
【テ】語句未完繼續向下敘述時候用的。有時也作「又」的意思。如「又」。

【寒ク】冷、「寒イ」的變形。  
【水泳】游泳。  
【氷スベリ】結實。  
【氷スベリ】溜冰、打水滑子。

【オ墓マイリ】上墳。  
【清明節】節分之一。  
【ヨモギ】草名。艾草。日語寫作「蓬」。

【ノキ】屋簷。  
【サス】挿進。  
【端午】五月節、節分之一。  
【節句】節分。  
【山上】登山、上山。

・【一】四 季 (原書一、二頁)

春・夏・秋・冬 オ 四季 トイ、マス。

三月・四月・五月ワ 春デス。六月・七月・八月ワ 夏デ

ス。九月・十月・十一月ワ 秋デス。十二月・一月・二

月ワ 冬デス。

春ワ 暖カデ、夏ワ 暑ウゴザイマス。秋ワ 涼シク

テ、冬ワ 寒ウゴザイマス。

ア、ンズノ 花ノ 咲クノワ、春デス。水泳オスルノ

ワ、夏デス。高粱ノミノルノワ、秋デス。氷スベ

リオスルノワ、冬デス。

オ墓マイリオスル清明節ワ、春デス。ヨモギオ

ノキニサス端午ノ節句ワ、夏デス。山上リオス

【一】四 季

春・夏・秋・冬 稱爲四季。

三月・四月・五月是春。六

月・七月・八月是夏。九月・

十月・十一月是秋。十二月・

一月・二月是冬。

春天暖和、夏天炎熱。秋

天涼爽、冬天寒冷。

開着杏花的、是春天。浮

水玩兒的、是夏天。高粱

熟成的、是秋天。滑冰玩

兒的、是冬天。拜墳的清明節、是春天。把艾草插在屋簷上的端午佳節、是夏天。登高的重

重陽節節分之一。  
 十月見看月亮。  
 中秋節八月節、節分之一。  
 新年頭慶祝、祝賀。  
 新年新年、正月、新正。  
 元宵節正月半、節分之一。

ル重陽節チヨウヨウセツヤ、オ月見ツキミオスル中秋節チュウシュウセツワ、秋アキデス。年トシノハジメオ祝イワウ新年シンネンヤ、トオロオオツケル元宵ガンシヨウ節セツワ、冬フユデス。

### 練習

○三月カラ五月マデガ春デス。春ハルワ暖ヌクカデ、アズズノ花ハナガ咲サキキマス。

六月カラ八月マデガ夏ナツデス。夏ナツワ暑アツククテ、水泳スイエイオシマス。

九月カラ十一月マデガ秋アキデス。秋アキワ涼スズクシクテ、高粱コウリヤウガ

ミノリマス。

十二月カラ翌年ヨクネンノ二月マデガ冬フユデス。冬フユワ寒サムククテ、氷ヒ

スベリオシマス。

○清明節セイメイセツニワオ墓ハカマイリオシマス。端午タンブノ節セツ句クニワヨ

モギオノキニサシマス。重陽節チュウヨウセツニワ山ヤマ上ノボリオシマス。

中秋節チュウシュウセツニワオ月見ツキミオシマス。新年シンネンニワ年トシノハジメオ

祝イハイマス。元宵節ガンシヨウニワトオロオオツケマス。

陽節、賞月の中秋節、是秋天。拜年的新正、點花燈的元宵節、是冬天。

### 練習

○從三月到五月是春天。

春天暖和、杏花開着。

從六月到八月是夏天。

夏天熱、浮水玩兒。

從九月到十一月是秋天。

秋天涼快、高粱成熟。

從十二月到第二年的二月是冬天。

冬天冷、滑冰玩兒。

。

○清明節上坟、端午節把

艾草插在屋簷。重陽節

登山。中秋節賞月。新年

賀年。元宵節點燈籠。

【タネマキ】下子兒。

【ノオフ】莊稼人。

【からすき】農具之一。

【ひかせて】「使」拉着。

【スイテ】犁着。

【次ギ】其次、第二。

【タネ】子兒。

【三人目】第三人。

【土】泥土。

【カブセテ】蓋上。

【マイタ】撒的。「マキマシタ」的普通語。

【マモナク】不一會、隔一會。

【ノビマス】伸長。

【六七月】六月和七月。

【ゴロ】形容時間不定的時候用的。

【青々】形容一片青色的樣子。

【シタ】了。作了。「シマシタ」的普通語。

〔二〕タネマキ (原書二、三、四頁)

ノオフガ、たねまきオシテイマス。

前ノ人ワ、馬ニからすきオひかせて、畠オスイテ

行キマス。ソノ次ギノ人ワ、クダオタ、キナガ

ラ、タネオマイテ行キマス。三人目ノ人ワ、その

アトニ、土オカブセテ行キマス。

今マイテイルノワ、高粱ノタネデス。マイタタ

ネカラ、マモナク、メガ出マス。メワ、ズン／＼ノ

ビマス。ソシテ、六七月ゴロニナルト、青々トシ

タ、高粱ノ畠ニナルノデス。

練習

○一バン前ノ人ワ馬ニ畠オスカセテ行キマス。二バン目ノ人ワクダオタ、キナガラ、タネオマイテ行キマス。

〔二〕播種

農夫在播種。

前頭的人、讓馬拉着爬犁、

犁着地走過去。第二個人、

敲着管子、一邊撒着種子

走過去。第三個人、在那

後頭、蓋着土走過去。

現在撒的、是高粱的種子。

從撒着的種子、不久就長

出芽、芽漸漸的高、於是

到了六七月的時候、就成

了綠油油的高粱地。

練習

○前頭的人、讓馬犁着地走。第二個人一邊敲着管子、一邊撒着種子走、

三バン目ノ人ワ土オカブセテ行キマス。コオシテ、高粱ノタネオマイテイマス。

○高粱ノタネオマクノワ春デス。高粱ノ葉ガシゲルノワ夏デス。高粱ノミノルノワ秋デ、高粱オ取リ入レルト、冬ガ來マス。

(三) 清明節 (原書四、五、六頁)

清明節ノ日ニ、私ワ、オ父サンヤ兄サント、オ墓マ  
イリニ行キマシタ。

暖カイ日デ、野モ山モ春ラシイ景色デシタ。み  
ちばたニワ、トコロニ、草ガ、青イ芽オ出シテ  
イマシタ。

私タチワ、一シヨニ、草オぬいたり、ゴミオトツタ  
リシテカラ、オ墓ニ土オカケマシタ。

野野地、曠野、郊外。  
ラシイ相像、好像似乎。  
景色景緻。  
トコロ到處、各處、  
四處。  
「タチ」：們的意思。如「ア  
ナタタチ」、「アノヒトタ  
チ」。  
「ぬいたり」又拔；「叙述作  
完一個動作，又作，別一  
個動作的時候，其間用「タ  
リ」連續。  
「ゴミ」灰塵。  
「トツタリ」又掃；「  
オ墓」墳墓。「オ」字沒有別  
的意思，只是恭敬的意思。  
「カケマシタ」撒了，蓋了。  
「カケマス」的過去。

第三個人蓋着土走。這  
樣，撒着高粱的種子。

○高粱的播種是春天。高  
粱葉子茂盛的是夏天。  
高粱成熟的是秋天。收  
穫高粱後冬天就到了。

(三) 清明節

清明節那一天，我和父親  
哥哥上墳去了。

是很暖和的天，野外，山  
上，都是春天一樣的風景  
了。路旁邊，處處都有草  
在長着芽了。

我們一塊兒又拔草，又掃  
土，完了把土蓋在墳上。

「アタリ」四圍、附近。  
「オソナエモノ」供物。「オ」  
字與前同。  
「オモキ」燭。「オ」字與前同  
意。

「オガミマシタ」拜了。「オガ  
ミマス」的過去。

「ソレカラ」於是。完了以後。

「待ッテ」等待着。等候着。

「イラッシャイマス」的過去。

「イマス」的過去。

「イマス」的  
恭敬語。

アタリガきれいにナルト、オ父サンワ、オ墓ニオ  
ソナエモノオシテ、紙オオ焼キニナリマシタ。  
私タチワ、ミンナデ、オガミマシタ。  
ソレカラ、ウチニ歸リマシタ。オ母サンワ、色々  
ごちそおオコシラエテ、待ッテイラッシャイマ  
シタ。

### 練習

○マダ、山ノトコロドコロニ、雪ガアリマスガ、ツメタイ風  
ワモオ吹カナクナツテ、ダイブン春ラシクナリマシタ。  
○オ墓ノ前ニワ、草ガ青クハエテイマシタ。私ラワ草オ  
ヌキマシタ。アタリニチラパツテイルゴミモトリマ  
シタ。ソレカラ、オ墓ニ土オカケマシタ。オ墓ニオソ  
ナエモノオシテカラ、紙オ焼イテ、ミンナデーシヨニオ  
ガミマシタ。  
○早クウチニカエリマシヨオ。オ母サンガゴテソオオ

四圍都整乾淨了、父親就  
在墳前擺好上供的東西、  
燒紙了。

我們就都叩頭了。

完了就回家了。母親已經  
作好了各種好吃的東西在  
等着了。

### 練習

○山上的處處還有着雪、  
可是寒冷的風已經不颯  
了。很有點春天的樣子  
了。

○墳前邊長着青草了。我  
們拔草了。周圍散亂着  
的灰塵也除去了。又在  
墳上蓋上土了。墳前擺  
上了供物燒了紙、大家  
一同跪拜了。

○快點回家吧。母親作着

コシラエテ待ッテイラツシヤイマス。

〔四〕 ミンナガ一生ケンメイ (原書六、七、八、九頁)

飯食在等着。

〔四〕 大家都努力

〔高〕高姓。  
〔一人〕獨自、單獨。

〔マツサキニ〕最初。  
〔ツイタ〕到了。

〔ヒツパツテ〕拉長着。

〔クルシイ〕辛苦、苦悶。  
〔スコシ〕一點、稍許。  
〔休ミマセン〕不休息、不休息。  
〔マス〕的否定語。

〔ボク〕我、對同輩或以下的人所用的話。  
〔ナマケル〕懶。  
〔キライ〕討厭、厭恨。  
〔見ムキ〕一顧、一睜。  
〔シマセン〕不、不作、不。  
〔トマツテ〕停留着。  
〔ミツバチ〕蜂的一種。  
〔見ツケテ〕看見着。

アル日高サンガ一人デ、野原エ遊ビニ出マシタ。  
マツサキニ日ニツイタノワ、何カ大キナモノオ  
ヒツパツテイル、一ヒキノアリデシタ。高サン  
ワ、

「アリサン、クルシイデシヨオ。スコシ休ミマ  
センカ。」

トイ、マシタガありワ、

「イヤボクワ、ナマケルコトワキライデス。」

トイツテ、見ムキモシマセンデシタ。

コンドワ、花ニトマツテイル、ミツバチオ見ツケ  
テ、

有一天、高生一個人到曠野玩兒去了。

書先、一眼看見的、是一隻螞蟻在拋着甚麼大東西。高生就說、

「螞蟻君、很苦吧、不稍微休息休息麼。」

螞蟻就說、

「不、是我不願意惰懶的。」

連看都不看他

這回、看見了停在花上的

蜜蜂。

【ミツ】蜜。  
【アツメテ】收聚着。  
【遊ンテ】遊戲着。  
【イラレマセシ】不能那樣。

【ウズメテ】埋着。

【カサ、ギ】鷓。鳥名。

【遊ビマセン】不遊戲。「遊ビ  
マス」的否定語。  
【聞ク】聽。

【ス】巢、窩。  
【コシラエ】製造、製作。

【ナケレバ】若是不。「ナイ」  
的假定語。

【ナリマセン】不成、不行、  
不能。

【アイテ】同伴、對手、敵對。

【仕事】事情。  
【モノ】普通「モノ」就是東  
西、在此則是「人」或是「者」  
的意思。

「ミツバチサン、コチラデ遊ビマシヨオ。」

トイ、マシタ。ミツバチワ、

「私ワ、ミツオアツメテイルノデス。遊ンデワ  
イラレマセン。」

トイッテ、花ノ中エ顔オウズメテシマイマシタ。

次ッギワカサ、ギノトコロニ行キマシタ。

「カサ、ギサン、ホクト一シヨニ遊ビマセンカ。」

かさ、ぎワコレオ聞クト、

「私ワ、スオコシラエナケレバナリマセン。」

トイッテアイテニシマセンデシタ。

高サンワソレカラ、馬ノトコロエ行キマシタ。

牛ノトコロモタズネマシタ。シカシ、ミンナガ、

一生ケンメイニ仕事オシテイテ、遊ンデイルモ

ノワ、ドコニモイマセンデシタ。

「蜜蜂君、到這兒來玩兒  
吧。」

這樣說了。蜜蜂說、

「我在收集花蜜、不能夠  
玩兒。」

就把臉埋在花裏頭了。

這回又定到喜鵲的地方去  
了。

「喜鵲君、不和我一塊兒  
玩兒麼。」

喜鵲聽見了這個說、

「我不得不把窠作好。」

不理他了。

高生又到馬的地方去了、

也到牛的地方問去了。可

是大家都在努力的工作

着、玩兒着的、那兒都沒

有。

「ダ」哪。在語句後面加強感嘆意思的。  
「コオ」這樣、如此。  
「イラレナイ」「イラレマセ」的普通語。

「イソイテ」急急向、匆匆的。

「ミンナガ、一生ケンメイダ。ボクモ、コオシテワイラレナイ。」

高サンワ、イソイデウチニ歸リマシタ。

練習

高サンガ野原エ遊ビニ出マシタ。

アリワ何か大キイ物オヒツパツテイマシタ。

ミツパチワミツオアツメテイマシタ。

カサ、ギワスオコシラエテイマシタ。

馬ワ小馬ヲソダテテイマシタ。

牛ワ乳ヲ出シテイマシタ。

ミンナガ、一生ケンメイニ仕事オシテイマシタ。

ナマケテ遊ンデイルモノワ、ドコニモイマセンデシタ。

ダレモ高サント遊ンデクレマセンデシタ。

高サンワイソイデウチニ歸ツテ來マシタ。

「大家都努力着。我也不能再是這樣了。」

高生急忙的回家去了。

練習

高生到野原遊戲去了。

螞蟻在拉着一個甚麼大的東西。

蜜蜂在吸集花蜜。

喜鵲在作巢。

馬在養育着小馬。

牛在出奶。

大家都努力的作活兒。

懶惰遊戲的，那兒也沒有。

誰也不和高生遊戲。

高生趕快回家來了。



「出タラ」若是出來了。

「オ前」你。對於比較自己身分小的人的稱呼。

「明日」明日。

「モツト」再還、更加。

「起キ」起。  
「ワカリマシタ」明白了。  
「ワカリマス」的過去。

「翌朝」次晨。  
「サマシテ」醒着。  
「起キヨオ」起來吧。

「ソレデ」故、因而。

「ザアト」潮潮的。形容大雨的樣子。

「シヨオ」……吧。「推測語和意志語。」  
「一日」一日。  
「起キル」起來。

〔五〕 日ガ出タラ (原書九、一〇頁)

オ母サン 「オ前、明日カラモツト早ク起キナケレ

バイケマセンヨ。」

子ドモ 「ハイ、ワカリマシタ。いつころ起キタラ

よおゴザイマスカ。」

オ母サン 「日ガ出タラ、スグ起キナサイ。」

翌朝ニナリマシタ。子ドモワ、目オサマシテ、起

キヨオト思イマシタ。けれども、マダ日ガ出テ

イマセン。ソレデ、とこノ中デ、日ノ出ルノオ待

ツテイマシタ。

しばらくスルウチニ、ザアト雨ガ降ツテ來マシ

タ。

「ア、ドオシヨオ。今日ワ、一日起キルコトガ

〔五〕 出了日頭

母親「你從明天起、更得早一點起來哪。」

小孩「是、知道了、甚麼時候起來才好呢。」

母親「出了日頭、就趕快起來吧。」

到了第二天早晨了。小孩一睡醒就打算起來了。但是日頭還沒有出來。所以在床上等着日頭出來。

不一會、雨滑刺滑刺的下起來了。

「啊、怎麼辦好。今天一

【出來ナイ】不成、不行。

【困ッテ】困難着。

出來ナイ。」

子ドモワ困ッテシマイマシタ。

練習

「明日カラモット早く起キナケレバイケマセン。」ト、オ母サンカライワレマシタ。

子ドモワ日ガ出タラ、スグ起キルコトニキメマシタ。

翌朝、子ドモワ目オサマシマシタ。

起キヨオト思イマシタガ、マダ、日ガ出マセン。

ソノ中ニ、雨ガ降り出シマシタ。

子ドモワトコノ中デ、イツマデモ、日ノ出ルノオ待ッテイマシタ。

〔六〕 遠足

(原書一〇、一一、一三、一四頁)

【遠足】長途的散步。短途的旅行。

昨日昨日。

杏花村村名。

八時半八時半。

町街市。

通ッテ通過着。

私タチワ、昨日杏花村エ遠足オシマシタ。

朝八時半ニ學校オ出テ、町オ通ッテ、野原エ出マ

天不能起來。」

小孩沒有辦法了。」

練習

從明天起不再早點起來不行、母親這樣說了。

小孩定規日頭一出來、就起來。

第二天的早晨、小孩醒了。

想要起來可是日頭還沒有出來。

這時候下起雨來了。

小孩在床上總等着日頭的出來。

〔六〕 遠足

我們昨天到杏花村遠足去了。

早晨八時半出了學校、走

「ウレシソオナ」愉快的樣子。  
「オ話シ」談話。

唱歌「歌」。  
「歌ツタリ」又唱歌。

「シ」作「和」スル「同様意思」。  
天氣「氣候」。

「ソヨノト」形容微風吹着的樣子。

「リヨオガワ」兩邊。  
「れじあやめ」菖蒲的一種。

「岡」山崗、土岡。  
「坂道」山岡的傾斜的道路。

「下リテ」下着。

「岸」水邊。  
「林」樹林。

「サエズツテ」鳥叫。

「ソツテ」沿着。

「上ツテ」向上去。

「小サナ」微小的。  
「關帝廟」廟名。

「ツイテ」到啦。  
「オマイリ」參拜。

「廟」廟宇。  
「池」水池。

「アツテ」有。

「マアリ」四圍、四面。

「植エテ」栽着。  
「デントオ」日語寫做「辨當」  
「タベマシヨオ」吃吧。

シタ。みんな、ウレシソオナ顔オシテ、オ話シオ

シタリ、唱歌オ歌ツタリシナガラ行キマシタ。

大ヘンヨイ天氣デ、暖カイ風ガソヨノト吹イ

テイマシタ。道ノリヨオガワニ、ねじあやめヤ

たんぼ、ガ、キレイニ咲イテイマシタ。

岡エ上ガツテ、シバラク休ミマシタ。ソレカラ、

坂道オ下リテ、川ノ岸エ出マシタ。柳ノ林ノ中

ニワ、小鳥ガサエズツテイマシタ。

川ニソツテ上ツテ行クト小サナ村ガアリマシ

タ。ソコガ杏花村デシタ。マモナク關帝廟ニ

ツイテ、オマイリオシマシタ。

廟ノ前ニワ、大キナ池ガアツテ、ソノマワリニ、タ

クサン杏ノ木ガ植エテアリマシタ。先生ワ、

「コノヘンデ、ベントオオタバマシヨオ。」

過大街到曠野了。大家的臉上都是很歡喜的、有的說話、有的唱歌、這樣一邊走着。極好的天氣、暖的和的風經經的吹着。道路的兩旁、菖蒲和蒲公英美麗的開着。

爬上山岡、休息了一會、又走下坡道、到了河邊、柳樹林中。小鳥啾啾的叫着。

沿着河走上去、有一個小村子。那兒就是杏花村。不一會到了關帝廟去拜謁了。

廟前邊、有個大池子、那四周圍、種着許多杏花樹。先生說。

「在這兒吃盒子吧。」

「オツシヤイマシタ」「イイマス」的敬語。「オツシヤイマス」的過去。  
 「ドモ」和「タチ」同樣意思。  
 坊サシ 價侶。  
 茶 茶水。  
 モラツテ 領、受領、要。  
 タベマシタ 吃了。  
 タノシク 愉快的。  
 集マレ 集合啊。「集マル」的命令語。  
 笛 哨子。  
 ズイブン 非常。  
 ツカレマシタ 累了。  
 ゆうはん 晚餐。  
 ネマシタ 睡覺了。

トオツシヤイマシタ。私ドモワ、廟ノ坊サシニ  
 オ茶オモラツテベントオオタバマシタ。  
 タノシク遊ンデイルト、集マレノ笛ガナリマシ  
 タカラ、又ナランデ歸リマシタ。  
 ズイブンツカレタノデ、ゆうはんオ食ベテカラ  
 スグネマシタ。

練習

○學校オ出テカラ、町オ通り、野原エ出マシタ。ソレカラ  
 岡エ上ガリ、坂道オ下リテ川ノ岸ニ出マシタ。  
 川ニソツテ上ツテ行クト、杏花村ニツキマシタ。  
 ○道ノリヨオガワニワ、ネジアヤメヤ、タンボ、ガキレイ  
 ニ咲イテイマシタ。  
 川ノ岸ノ柳ノ林ニハ、小鳥ガサエズツテイマシタ。  
 關帝廟ノ前ノ池ノマワリニワ、タクサン杏ノ木ガ植エ  
 テアリマシタ。

我們向廟裏的和尙。要來了茶吃飯盒子了。  
 正在快樂的玩兒着、集合的哨響了、所以又排隊回來了。  
 因爲很疲乏、所以吃了晚飯就睡了。

練習

○出了學校走過大街、到曠野了。又爬上山崗走下坡道到河邊了。沿着河走上去到杏花村了。  
 ○道路的兩旁、菖蒲草和蒲公英美麗的開着。  
 河旁的柳樹林裏、小鳥叫喚着。  
 關帝廟前邊的池子的周圍種着許多杏花樹。

○野原オ歩アルイテイル時トキ、オ話シオシタリ、唱歌オ歌ツタリ  
シマシタ。

岡エ上アガツテ、シバラク休ミマシタ。

廟ノ前デオベントオオタベマシタ。廟ノ坊サンニオ  
茶オモライマシタ。

〔七〕 オジイサン (原書一四、一五頁)

ウチノオジイサンワ、毎日マイニチ、ウラノ島ハタケニ出テ、野菜ヤサイ

オツクツテイラツシヤイマス。ドンナ日ヒデモ

休ヤスマナイデ、虫ムシオトツタリ、コヤシオヤツタリ、草クサ

取トリオシタリシテイラツシヤイマス。

野菜ワ、ダン／＼大オキクナツテイキマス。

オジイサンワ、今日キョダイコンヤほおれんそおナ

ドオカツイデ、町マチエ賣ウリニイラツシヤイマシタ。

【オジイサン】爺爺。

【ウラ】裏頭。裏邊。  
【野菜】青菜。

【ツクツテ】作着。

【休マナイ】不停、不歇。

【虫】虫多。

【コヤシ】肥料。

【ヤツタリ】又作……

【草取り】除草。

【ほおれんそお】青菜名。日語寫作「菠薐草」。

【ナド】等等。

【カツイデ】扛着、擔着。  
【賣リ】賣。「賣ル」的變形。

○在曠原裏走着的時候、有說有唱。

走上山崗、休息了一會。

在廟的前邊吃了飯盒子。向廟裏的和尚要來了茶。

〔七〕 祖父

我家的祖父、每天到後頭的園地裏去種菜。甚麼日子、也不休息的、又捉蟲子、又加肥料、又拔草。

菜一點點長大。

祖父今天挑了蘿蔔、菠薐菜一些東西上街賣去了。

【オ出カケ】出去、出發。

【歸リ】回來。歸途。

オ出カケニナル時

「歸リニワ、おみやげオ買ッテ來テアゲマスヨ。」

トオツシヤイマシタ。

練習

○ウチノオジイサンワ、毎日ウラノ畠ニ出マス。

雨ノ降ル日モ休ミマセン。風ノ吹ク日モ休ミマセン。

ドンナ日デモ休ミマセン。

○オジイサンワ、畠ニ出テ虫オトツタリ、コヤシオヤツタ

リ、草取りオシタリシテ、野菜オツクツテイマス。

○野菜が大キクナルト、オジイサンガ町エ賣リニ行キマ

ス。

○町カラノ歸リニ、ボクノオミヤゲオ買ッテ來ルト、オツ

シヤイマシタ。

臨走的時候、

「回來給你買玩藝兒來。」

這樣說了。

練習

○我家的祖父、每天到後

頭的園地裏去。

下雨天也不歇、颶風天也不歇、甚麼天頭也不歇。

○祖父到地裏又捉蟲子、

又加肥料、又拔草的種着菜。

○菜一長大祖父就到街上去賣。

○說從街上回來、就給我買好東西來。

【ギッコンバツタン】小孩子的一種遊戲。

「八」ギッコンバツタン

(原書一六、一七頁)

「八」蹺蹺板

【上カレバ】若是上去。「上カ  
ル」的假定語。

【わたし】我。和「ワタクシ」  
同義。  
【下ガル】降下。

【上ガッタ】上去了。  
【思エバ】正在想、若是想。

【ストント】形容落下去的聲  
音。  
【落ちル】下去。

【フワリト】形容昇上來時飄  
飄然的樣子。

ギツコンバツタン オモシロイ。

アナタガ上ガレバ、

ワタシガ下ガル。

わたしシガ上ガレバ、

アナタガ下ガル。

ギツコンバツタン オモシロイ。

ギツコンバツタン オモシロイ。

上ガッタト思エバ、

ストント落ちル。

落ちタト思エバ、

フワリト上ガル。

ギツコンバツタン オモシロイ。

練習

蹺蹺板、真有趣。

你上來、我下去。

我上來、你下去。

蹺蹺板、真有趣。

蹺蹺板、真有趣。

剛下去又掉下去。

剛下去又昇上來。

蹺蹺板、真有趣。

練習

ギツコンバツタンワオモシロイ遊<sup>ア</sup>ビデス。コチラガ下  
 ガルト、アチラガ上ガリマス。アチラガ下ガルト、コチラ  
 ガ上ガリマス。上ガツタト思ウト、ストント落チマス。  
 落チタト思ウト、フワリト上ガリマス。  
 ギツコンバツタンワ、オモシロイ遊ビデス。

〔九〕カエル (原書一八、一九頁)

〔カエル〕蟾哈蟈、青蛙。  
 〔オカ〕陸。  
 〔ノコく〕形容蛙走的樣子。  
 〔アルイタリ〕又走。  
 〔ビヨシク〕形容動物跳的樣子。  
 〔トシタリ〕又跳。  
 〔イタリ〕又……  
 〔バクツト〕形容張大了嘴大口吃下去的樣子。  
 〔シマイマス〕……了。

〔オヨギマワリマス〕四處巡遊的游着。  
 〔サカサマ〕倒逆。  
 〔モグツタリ〕又能蹩。  
 〔ノバシテ〕伸長着。

カエルワ、オカニイル時<sup>トキ</sup>ニワ、ノコくアルイタ  
 リ、ピヨシクピヨシクトシテイマス。又大<sup>オオ</sup>キ  
 ナ目<sup>メ</sup>オシテ、手<sup>テ</sup>オツイテスワツテイタリシマス。  
 スワツテイイル時<sup>トキ</sup>ニ、小<sup>チ</sup>サナ虫<sup>ムシ</sup>ガ、前<sup>マエ</sup>エクルト、パク  
 ツト食<sup>ク</sup>ベテシマイマス。  
 水<sup>ミヅ</sup>ノ中<sup>ナカ</sup>デワ、ジヨオズニオヨギマワリマス。又、  
 サカサマニナツテモグツタリ、足<sup>アシ</sup>オノバシテ、水

蹩蹩板是有趣的遊戲。這  
 邊下去、那邊就上來。那  
 邊下去、這邊就上來。正  
 以為是上來、就慌忙的掉  
 下去了。正以為是下去、  
 又驕然的上來了。  
 蹩蹩板是有趣的遊戲。

〔九〕蛙

蛙在陸地上的時候、能緩  
 慢的走、也能蹩蹩跳跳。  
 又有很大眼睛、撐着手  
 坐着。坐着的時候、前邊  
 若來一隻小蟲、就一口吃  
 下去。

在水裏、能很精熟的來回  
 游着。又能倒立起來蹩下



【ウカシタリ】又飄着。

【スンデ】居住。

【長ク】好久、許久。

【コイ】鯉魚。

【ふな】淡水魚的一種。

【同】時候。

【ナク】沒有。

【死ンデ】死啦。

【すむ】居住。

【出來ル】能夠、會。

ノ上<sup>ウエ</sup>ニウカシタリシマス。

オカニスンデイル人ヤ犬<sup>イヌ</sup>ナドワ、水ノ中デワ、長<sup>ナガ</sup>

クイルコトワ出來<sup>デキ</sup>マセン。水ノ中ニスンデイ

ルコイヤふ<sup>フ</sup>な<sup>ナ</sup>ナドワ、水カラ出<sup>デ</sup>ルト、間<sup>マ</sup>モナク死<sup>シ</sup>

ンデシマイマス。シカシ、か<sup>カ</sup>え<sup>エ</sup>る<sup>ル</sup>ワ、水ノ中ニデ

モ、オカノ上ニデモ、す<sup>ス</sup>む<sup>ム</sup>コトガ出來ルノデス。

### 練習

○カエルワイロ<sup>ウシドオ</sup>ノナ運動オシマス。

ノコノ<sup>ノ</sup>歩キマス。

ピヨ<sup>ン</sup>ノ<sup>ノ</sup>トビマス。

手オツイテスワリマス。

ジヨオズニ水オオヨギマス。

サカサニナツテ水ノ中オモグリマス。

足オノバシテ水ノ上ニウカビマス。

○人ヤ、犬ワ、水ノ中ニスムコトガ出來マセン。

去、和伸着脚、在水上飄浮着。

住在陸地上的人和狗等、

在水裏不能待很長久的時

候。住在水裏的鯉魚、

鯉魚等、離了水、一會就

死。可是、蛙在水裏、在

陸地上、都能滯着。

### 練習

○蛙作各種的運動。

緩慢的走。

頻頻的跳。

撐着手坐。

熟練的游水。

倒躡進水裏去。

伸着脚飄在水上。

○人和狗不能在水裏住。

フナヤコイワ、オカニスムコトが出来マセン。  
カエルワ、水ノ中ニデモ、オカノ上ニデモ、スムコトが出来マセン。

〔十〕 小野道風 (原書二〇、二二頁)

【小野道風】日本一個古人名。  
【日本】國家名。  
【ゆう】叫作、稱作、稱謂。  
【わか】年輕。  
【字】字。  
【な】なりました【學習】。  
【うまく】精熟。  
【書けません】不能夠寫。

【ふる】下。  
【はた】畔、旁邊。  
【しだれ柳】樹名。  
【とびつこお】將要跳着夠上去。  
【落ち】落下。  
【とび】跳。

【とべる】能夠跳。  
【とびつきました】跳着夠着了。

昔、日本に、小野道風とゆう人がありました。わかい時字おならいでしたが、うまく書けませんで、困っていました。ある雨のふる日に、道風が、庭え出て、池のはたお通りますと、しだれ柳の枝え、蛙がとびつこおとしています。そして、とんでわ落ち、落ちてわとび、何べんもく、とびつこおとします。だんだん高くとべるよおになつて、とおく柳にとびつきました。

鯽魚和鯉魚不能在陸上住。  
蛙在水裏、在陸上都能住。

〔十〕 小野道風

古時、日本有一個叫小野道風的人。年小的時候、練習寫字了。因為寫不好所以很困難着。

有一個下雨天、道風到院子裏、走過池旁、這時有一隻蛙、要跳到垂楊柳的枝上去。於是跳上去、就掉下來、又跳好幾遍、好幾遍、要跳上去。漸漸的能跳得很高了、終歸跳到柳樹上去了。

【こんき】精力。  
よければ【若是好】。

【何事】各種事情、大小事情。  
ない【沒有】。

【さとりに】明白。  
一生けんめいに【努力、置  
一切於不顧】。

【後】以後。  
【名高】著名、成名。

【書家】書家。

道風わこれお見て、この蛙のよおに、こんきがよければ、何事も出来ないことわないとさとりに、それからわ、一生けんめいになつて、毎日字おならいしました。ずん／＼上手になつて、後にわ、名高い書家になりました。

### 練習

池のはたに柳の木がありました。

蛙がその柳の枝えとびつこおとしました。

とびました。落ちました。又とびました。又落ちました。

た。

何べんも／＼とびつきました。だん／＼高くとべるよ

おになりました。

小野道風がこれを見ていました。そして、蛙のこんきの

よいのにかんしんしました。

それから一生けんめいに字をならいました。

道風看見了這個、覺悟了。只要像這隻蛙一樣、有毅力、甚麼事都沒有不成功的。從此熱心努力、每天練習字了。漸漸寫得好、後來成了有名的書家。

### 練習

池旁有柳樹。

蛙要跳到柳樹的枝上去。

跳了。掉了。又跳了。又

掉了。

跳了好幾次。一點々能跳

得高了。

小野道風看見這個了。於

是佩服了蛙的有恒心。

從此專心學字了。

ずん／＼上手になりました。しまいには名高い書家になりました。

〔十一〕ハ イ (原書二二、二三頁)

「ヨオニ」…的樣子」。

「ウルサイ」麻煩、可恨。

「カマワズ」不論、不顧、不擇。

「追ッテ」追趕。

「トマリマス」停留。

「キタナイ」不乾淨。

「豚ゴヤ」猪住的地方。  
「便所」廁所。

「イヤナ」討厭的。

「ツクタ」帶了。  
「マ」原樣。

「ブルイ」壞。  
「病氣」疾病。

ハイガ、タクサン、出ルヨオニナリマシタ。

ハイワ、ウルサイ虫デス。顔デモ、手デモ、ドコデ

モ、カマワズトマリマス。追ッテモ／＼、又、來テ

トマリマス。

ハイワキタナイ虫デス。ドンナトコロニモイ

マス。豚ゴヤノ中デモ、便所ノ中デモ、ヘイキデ

トビマワツテイマス。

ハイワイヤナ虫デス。キタナイトコロオ歩イ

テ、キタナイ物オツケタマ、デ、食ベ物ナドノ上

ニトマリマス。ソレオ食ベルト、ブルイ病氣ニ

漸漸好了。終於成爲有名的書家。

〔十一〕蒼蠅

蒼蠅多起來了。

蒼蠅是討厭的蟲子。臉上、手上、那兒都不管的來停着。攆着、攆着、又過來停着。

蒼蠅是骯髒的蟲子。甚麼地方都滯。在猪廄裏、便所裏、都坦然來回飛着。

蒼蠅是可惡的蟲子。在骯髒的地方走着、帶來骯髒東西又停到食物等東西上。一吃這些東西、就能

「カ、ル」書、得。

カ、ルコトガアリマス。

練習

ハイワ、私<sup>ワタクシ</sup>たちノ顔ニデモ、手ニデモカマワズトマリマス。追ッテモ、追ッテモ、又來テトマリマス。ホントオニウルサイ虫デス。

ハイワ豚ゴヤノ中ニモイマス。便所ノ中デモトビマワッテイマス。ドンナトコロニデモヘイキデス。ホントオニウルサイ虫デス。

ハイワ食べ物ノ上ニトマリマス。キタナイトコロオ歩イテ、キタナイ物オカラダニツケタマ、トマリマス。人ガソレオ食ベルト、ワルイ病氣ニカ、ルコトガアリマス。ハイワホントオニイヤナ虫デス。

〔十二〕 草取

(原書二三、二四、二五頁)

今日ワ、日曜日<sup>ニチヨロビ</sup>ナノデ、兄サント、朝カラ<sup>アサ</sup>畠<sup>ハタケ</sup>ニ出マシタ。廣イ畠<sup>ヒロ</sup>ニワモオ豆<sup>マメ</sup>ノクキガ長ク<sup>ナカ</sup>ノビテ

得不好的病。

練習

蒼蠅不管我們的臉上和手上都停着。攆啦又來。真是討厭的蟲類。

蒼蠅也待在豬廐裏。也在便所裏來回飛。甚麼地方都不顧。真是討厭的蟲類。

蒼蠅停在食物上。在骯髒的地方走，身上沾着骯髒的東西來停着。人一吃那東的西，就得不好的病。蒼蠅真是討厭的蟲類。

〔十二〕 拔草

今天是禮拜，所以和哥哥一早到地裏去了。在寬廣

日曜日<sup>ニチヨロビ</sup>星期日。  
島莊<sup>シマ</sup>稼地<sup>カキ</sup>。  
豆<sup>マメ</sup>ノクキ<sup>ノクキ</sup>梗<sup>ノクキ</sup>。  
ノビテ<sup>ノビテ</sup>伸長<sup>ノビテ</sup>薺<sup>ノビテ</sup>。

イマシタ。ソシテ、ソノ間<sup>アイダ</sup>ニワ、草ガタクサンハ  
エテイマシタ。

私<sup>ワタクシ</sup>ドモワ、畠ノカタハシカラ、草オ取りハジメマ  
シタ。小<sup>チイ</sup>サナ草ワ、スグヌケマシタガ、大<sup>オ</sup>キナノ

ワ、ヌクノニ中<sup>ナカ</sup>々々ホネガオレマシタ。

取<sup>トル</sup>ツタアトオ見<sup>ミ</sup>ルト、タイソオキレイデス。豆

ノ葉<sup>ハ</sup>ワ、ウレシソオニ、風<sup>カゼ</sup>ニウゴイテイマス。時<sup>トキ</sup>

時<sup>トキ</sup>、スマメガト<sup>キ</sup>ンデ來<sup>キ</sup>テワナキマス。

私<sup>ワタクシ</sup>タチワ、ムチユウニナツテ取<sup>トル</sup>リマシタ。

オヒルノゴハンワ、畠<sup>ハ</sup>デ食<sup>ク</sup>ベマシタ。タイソオ

オイシユウゴザイマシタ。

ユウガタマデニ、スツカリ取<sup>トル</sup>ツテシマイマシタ。

ソシテ、ヨイ心<sup>ココロ</sup>モチニナツテ、ウチエ歸<sup>カエ</sup>リマシタ。

「カタハシ」端、頭。  
「取<sup>トル</sup>リハジメマシタ」拔起來了。  
「ムクマシタ」拔下來了。  
「中<sup>ナカ</sup>々々」很、實在、非常。  
「ホネ」骨。  
「取<sup>トル</sup>ツタ」拔了。  
「ウレシ」愉快。  
「ウゴイテ」動着。  
「時<sup>トキ</sup>時<sup>トキ</sup>不<sup>レ</sup>時<sup>トキ</sup>」時常、常常。  
「ナキマス」叫、哭。  
「ムチユウニ」像夢中一樣。  
「取<sup>トル</sup>リマシタ」拔了。「取<sup>トル</sup>リマシタ」的過去。  
「オヒル」正午。  
「オイシユウ」鮮美、有滋味。  
「ゴザイマシタ」有、在。  
「ゴザイマス」的過去。「イマス」的恭敬語。  
「心モチ」心境。

練習

的地裏、豆子的莖已經長得很高了。而且、裏頭的草也長了許多。

我們從地的一邊起、開始拔草了、小的草是就能拔

下來、可是大的、拔起來真費勁。

一看拔去以後的地方、真是乾淨。豆子的葉、歡喜

的在風裏動着。時時有麻雀飛過來叫。

我們忘去了一切拔了。响午飯是在地裏吃的、很好吃。

到傍晚、完全拔除了。於是、心裏很爽快回家了。

練習

○豆ノ島ニ草ガタクサンハエマシタ。

日曜日ニ草取りオシマシタ。小サナ草ワ、スグヌケマシタガ、大キイノワヌクノニ中々ホネガオレマシタ。

ムチユウニナツテ、ハタラキマシタノデ、ユウガタマデニ、スツカリ取ツテシマイマシタ。

○草オ取ツタアトオ見ルト、ヨイ心モチデシタ。豆ノ葉ガウレシソオニ風ニウゴイテイルノオ見ルノモ、ヨイ心モチデシタ。スバメガトンデ來テナクノモ、ヨイ心モチデシタ。スツカリ草オ取ツテシマツタ時ワ、一バンヨイ心モチデシタ。

〔十三〕 犬ト鳥 (原書二五、二六、二七、二八、二九頁)

一羽ノ鳥ガ、木ノ枝ニトマツテ、下オ見下ロシナガラ、

「オヤ、肉ガ一キレ落チテイル。オイシソオダ。」

〔十三〕 狗和鳥鴉

○豆地裏長了許多草了。禮拜去拔草了。小草很容易拔下來，可是大的拔起來真不易。因爲熱心的工作着，到了傍晚完全都拔掉了。○看着拔了草的那兒，心裏很爽快了。看着豆葉在風裏快樂的搖動着的樣子，心裏也很爽快了。家雀飛來叫着心裏也很爽快了。把草完全拔盡了的時候，心裏是最爽快。

一隻鳥鴉，停在樹枝上，一邊向下一望，

「哦，掉了一片肉，像很好吃。檢來吃吧。」

【鳥】鳥名。

【一羽】表明鳥類的數目的時候用的。  
【見下ロシ】俯視。

【オヤ】受驚的時候說的話。  
【肉】肉。  
【一キレ】一塊。  
【オイシ】鮮美。

【ヒロツテ】拾着。  
【食べヨオ】吃吧。

【ニオイ】香味、味。  
【アル】有、「アロマス」的普通語。

【ハシリヨル】跑到旁邊去。  
【クロエテ】用嘴叨着。  
【モト】以先、原來。  
【トビアガリマシタ】跳上去

【モシ】招呼人的時候用的。普通打電話時的頭一句話常說。  
【君】尊敬人的時候加在人名下說的。

【サキ】快、前、先前。  
【見ツケタ】發見了。  
【ワタシマシタ】給。  
【ワタシマセン】不給。「ワタシマス」的否定語。

【半分】半部分。  
【ズツ】各。  
【來】來。

【聞キマセン】不聽、不聽話。

【シカタ】方法。  
【上ゲマシヨオ】給……吧。  
【送給】

ヒロツテ食べヨオ。」  
ソコエ、一匹キノ犬が來テ、

「ヨイニオイガスル。ア、アノ木ノ下ニ肉ガアル。ドレ、食べヨオ。」

犬ガハシリヨルト、鳥ワ、スバヤクソレオ口ニクワエテ、モトノ木ノ上エ、トビ上ガリマシタ。

「モシ、鳥君、ソノ肉ワ、ボクガサキニ見ツケタノデスヨ。ボクニワタシテクダサイ。」

鳥ワ、首オフツテ、ワタシマセン。

「ソレデワ、半分ズツ食べマシヨオ。コチラエ下リテ來ナサイヨ。」

ソレデモ、鳥ワ、首オフツテ聞キマセン。犬ワ、シバラク、何カ考エテイマシタガ、

「デワ、シカクガアリマセン。ミンナ、君ニ上ゲ

這時來了隻狗。

「好香的味兒。啊，那樹底下有肉。吃啊。」

狗一跑過去，烏鴉很快的把那銜在嘴裏，又飛到原先的樹枝上去了。

「喂喂，烏鴉君，那肉是我先看見的哪。交給我吧。」

烏鴉搖著頭，不給。

「那麼大家各吃一半吧。下來哪。」

烏鴉還是搖頭不聽。狗不知怎麼想了一會。

「那麼，也沒有法子。都給



【カワリ】替換。  
【歌】歌。  
【歌ッテ】唱着。  
【聞カセテ】使、聽

【ホントオニ】實在，很確實。

【タチマチ】忽然間。  
【トクイニ】驕傲，自傲。

【カア】形容烏鴉叫的聲音。

【パタリト】形容東西掉地下  
的聲音。

【落ちマシタ】掉了。「落ちマ  
ス」的過去。  
【ツキマセン】沒有。

【ヒロウ】拾。  
【ニゲ出シテ】開始逃了，逃  
起來了。

【知ラナイ】不明白。  
【見上ゲテ】仰視。  
【ハリ上ゲテ】吊高着。

【鳴キマシタ】叫了。

【イナイ】沒有，不在。  
【行ツタ】走了。

マシヨオ。ソノカワリ、君ノアノヨイ聲デ、歌  
オ歌ッテ、聞カセテクダサイ。君ノ歌オ聞ク  
ト、ホントオニ、ヨイ心モチニナリマスカラ。」  
鳥ワ、タチマチ、トクイニナツテ、

「カア。」

ト鳴クト、クワエテイタ肉ガ、下エパタリト落チ  
マシタ。ソレデモ、鳥ワ、氣ガツキマセン。

「カア、カア、カア。」

犬ワ、肉オヒロウト、スグニゲ出シテシマイマシ  
タ。鳥ワ、何モ知ラナイデ、空ノ方オ見上ゲナガ  
ラ、聲オハリ上ゲテ、

「カア、カア、カア。」

ト鳴キマシタ。

「ドオデス、犬君。オヤ、イナイ。ドコエ行ツタ

你吧。可是有交換條件，  
用你的那個嗓子，唱個  
歌給我聽聽吧。因為一  
聽見你的歌，心裏真會  
爽快。」  
烏鴉忽然很得意的。

「卡。」

的一叫，銜着的肉，「怕」  
一下子掉下來了。可是烏  
鴉還沒有留意。

「卡、卡、卡。」

狗撿起肉，就逃走了。烏  
鴉甚麼也不知道，擡頭向  
天上望着，一邊吊高着嗓  
子。

「卡、卡、卡。」

的叫了。

「怎樣，狗君，哦，不在啦，

「ダロオ」哪、吧、推測語。

「アワテテ」惶恐。  
「見マワシマシタ」四顧、東張西望。

ノダロオ。アツ、肉ガナイ。」

鳥ワ、アワテ、アタリオ見マワシマシタ。

練習

○一羽ノ鳥ガ木ニトマツテイマシタ。下オ見ルト、一キレノ肉ガ落チテイマス。一ビキノ犬ガ來テ、ソレオヒロオトシテイマス。鳥ワ枝カラトビオリマシタ。ソシテ、スバヤク肉オ口ニクワエテ、モトノ木ノ枝ニトビ上ガリマシタ。

○犬ワ自分ガサキニ見ツケタノダカラ、ワタシテ下サイ。トイ、マシタガ、鳥ワ首オフツテワタシマセン。「ソレデワ、半分ズツワケマシヨオ。」トイ、マシタ。ケレドモ、鳥ワヤツバリ首オフツテ聞キマセン。

○犬ワシバラク考エテイマシタガ、何オ思ツタノカ、シキリニ鳥ノ聲オホメ出シマシタ。ソシテ「ソノヨイ聲デ歌オ歌ツテ聞カセテ下サイ。」トイ、マシタ。鳥ワタチ

上那兒去了哪。啊。肉沒有了。」

鳥鴉驚慌的向四周圍望了。

練習

○一隻鳥鴉停在樹上。向下一看有一片肉掉著。一隻狗來正想要撿。鳥鴉從樹枝上飛下來。迅速的把肉銜在嘴裏飛到原來的樹枝上了。

○狗因為是自己先看見的，所以說給我吧。但是鳥鴉搖頭不給。說那麼一人一半吧。可是鳥鴉還是搖頭不聽。

○狗合計了一會，可是好像想起了甚麼似的。一個勁兒誇獎鳥鴉的聲音好。就說用那個好聽的聲音唱歌給我聽吧。鳥

マチトクイニナツテ、「カア」ト一聲鳴キマシタ。鳴ク  
ト、クワエテイタ肉ガ、下ニバタリト落ちマシタ。犬ワ  
ヨロコンデソレオヒロイマシタ。

〔十四〕 時計 (原書二九、三〇、三一、三二頁)

〔かけ時計〕掛鐘。  
〔買った〕買了。  
機械機器。  
すこしも一點也不。絶不。  
くるわな、不亂。  
一週間一禮拜。  
ねじ、擰子。  
かけない、不上。  
とまる、站住、止住。

針、針。  
七時、七點。  
十二時、十二點。  
さして、對着、指著。  
大急ぎ、趕緊、急急。  
かばん、書包、皮包。  
かけて、弄着、跑着。  
出かける、走出去、出發。  
いなければ、若是不、假設  
不。  
ゆつくりして、緩慢的。

うちでわ、この間、大きなかけ時計お買った。

機械がよいので、すこしもくるわない。又、一週

間もねじおかけないでも、とまるよおなことわ

ない。

僕わ、いつも、時計お見てわ、學校え行く。

朝起きて、ごはんお食べると、すぐ時計お見る。

短い針が七時、長い針が十二時のところおさし

ていると、大急ぎで、かばんおかけて出かける。

針が、まだそこおさしていなければ、ゆつくりし

鴉忽然很得意了、「カ」  
的一聲叫起來了。一叫  
銜着的肉就怕一下子掉  
了、狗很歡喜的搶着肉  
了。

〔十四〕 鐘

家裏在前幾天買了一個大  
鐘。因爲機器好。一點也  
走的不差。而且一星期不  
上機器、也不會停住。

我時常看着鐘上學校去。

早晨起來一吃飯。就看鐘。

短針在指着七點、長針在

指着十二點、就趕快背着

書包出去了。針若是沒有  
指在那個地方、就慢慢兒

【ボチ】狗的名字。  
【遊んだり】或者遊玩。

【げんかん】大門內的意思。  
【門内】日語寫作「玄關」。

【ボーン】鐘的敲聲。

【七つ】七個。

【ちよおど】正好。  
【ぼつちやん】小孩、小男孩。

【歸つた】回來了。  
【すると】這樣、這一來。

【チクタクチクタク】形容鐘擺的響聲。

【お歸り】回來。

【聞こえて】聽見。

【氣持ち】精神。  
【おそく】晚、慢。「おそい」的變形。

【おそい】晚、慢。  
【道草】路旁的草。  
【くつた】玩了。

【はずかしい】羞恥。

て、ボチと遊んだりする。

僕が、げんかんお出るところ、ボン／＼／＼／＼と、

七つうつ。ちよおど、

「ぼつちやん、行つていらつしやい。ぼつちや

ん、行つていらつしやい。」

とゆうよおだ。

學校から歸つた時も、すぐ時計お見る。すると、

チクタク、チクタクとゆう音が、

「ぼつちやん、お歸り。ぼつちやん、お歸り。」

といつてゐるよおに聞こえて、氣持ちがよい。

けれども、遊んでおそくなつた時などわ、

「ぼつちやん、おそい、道草くつた。ぼつちやん、

おそい、道草くつた。」

と笑つてゐるよおに聞こえて、はずかしいから、

的和大白玩兒。

我走出大門的時候、鑼鑼

鑼鑼的打了七下。正好像

這樣說、

「小少爺、請去吧、小少

爺、請去吧。」

從學校回來的時候、也看

鐘。這時、那「的答的答」

的聲音、

「小少爺、回來了、小少

爺、回來了。」

聽着好像這樣說着、很覺

得高興。可是玩兒得晚回

來的時候。

「小少爺、晚了、多麼貪

玩、小少爺、晚了、多

麼貪玩。」  
聽着好像在笑話我、我因  
害臊、

授業<sup>じゆぎよ</sup> 功課。  
すむ 完畢。  
さつさと 快快的。

このごろわ、授業<sup>じゆぎよ</sup>がすむと、さつさと歸<sup>かえ</sup>ることにしている。

練習

○うちの時計わ機械がよいから、くるいません。一週間もねじおかけないでも、とまるよおなことわ、ありません。

○僕わ、いつも時計お見てわ、學校え行きます。時計がまだ七時前だと、ゆつくりします。七時すぎだと、さつさと行きます。

○朝出る時わ、ぼつちゃん、行つていらつしゃい。」とゆうよおに聞こえます。歸ると「ぼつちゃん、お歸り。」とゆうよおに聞こえます。遊んでおそく歸ると「ぼつちゃん、道草くつた。」と笑つているよおに聞こえます。

【早起き】早起來。

〔十五〕早起<sup>はやおき</sup>き (原書三三、三五頁)

所以近來一放學就迅速的回家。

練習

○我家的鐘因爲機器好所以不快不慢。一禮拜不上弦也不會停住。

○我總是看了鐘上學校去。鐘還在七點前，我就慢慢兒的。過了七點我就快快的去。

○早晨出去的時候、聽着好像是說「小少爺請去吧。」回來就聽着好像是說「小少爺回來了。」玩兒晚了回來的時候、聽着好像是笑着說「小少爺、多麼貪玩。」

〔十五〕早起

【涼しい】涼快、涼爽。

【出ません】不出、沒有出。  
【金色】金色。

【ういて】飄着。

【アウ〜】形容豬的叫聲。

【とや】雞住的屋子。  
【さがして】找尋着。

【口笛】用嘴吹出的聲音。

【光って】閃耀着、發着亮光。

いつもより早く起きて、外に出ました。涼しい

風が吹いて、たいそおよい心もちです。

日わ、まだ出ません。きれいな金色の雲が、東の

空にういています。

豚ごやでわ、豚が、ブウ〜はなおならしていま

す。にわとりわ、とやから出て、えおさがしてい

ます。口笛お吹くと、どこからか、ポチが、尾おふ

つてとんで来ました。

あ、日が出ました。朝顔の葉に、露がさら〜

光っています。

あちらこちらで、にわとりがなっています。

練習

○朝早く起きました。涼しい風が吹いてよい心もちです。

比平常早起、到外邊去了涼風吹着、心裏很爽快。

日頭還沒有出來、美麗的金色的雲、在東方的天空裏飄浮着。豬廄裏頭、豬在「不不」的哼着。雞從雞屋出來、我食兒吃。一吹口哨、也不知從甚麼地方、大白搖着尾巴奔過來了。

啊、日頭出來了。喇叭花的葉子上、露珠在一閃一閃的亮着。

四處的雞在叫着。

練習

○早晨早起來了。涼風吹着、心裏很爽快。

東の空に金色の雲がういています。日わまだ出ません。

○豚ごやでわ、豚がはなおならしていています。にわとりわとやかから出て、えおさがしていています。ボチがどこからか、とんで來ました。

○日が出ました。朝顔の葉に露が光ります。あちらこちらで、にわとりが鳴いています。

〔羊飼〕看羊的、儼羊的。

〔十六〕 羊飼ひつじいか (原書三五、三六、三七頁)

羊おつれて、野原はらに出でました。

〔行つたり〕或是去。

羊わ、うれしそおに、あちらえ行いつたりこちらえ來きたりして遊あそんでいます。中なかにわ、遠とほくまで遊

〔來たり〕或是來。

〔追っかけて〕追過去。

びに行くものもあります。追おっかけて行つて、

〔むち〕鞭。

むちおふると、おどろいて歸かえつて來ます。

〔ふる〕振搖。

〔おどろいて〕驚駭着。  
小川がわ小河水。

草くさお食たべているのもあります。小川がわの水みずお飲の

東天颺着金色的雲。日頭還沒有出。

○猪廐裏的猪在哼着。雞從雞屋裏出來、我食兒吃。大白也不知從那兒跳過來了。

○日頭出來了。牽牛花的葉子上亮着露珠。四處的雞叫着。

〔十六〕 放羊的

領着羊、到曠野去了。

羊很歡喜的樣子、跑到那裏去、跑到這裏來的玩兒着。其中也有跑到很遠的地方去玩兒的。追過去、揮鞭子、就驚恐的回來

了。也有吃草的。也有喝小河

んでいるものもあります。木のかげに休んでい  
るものもあります。どれもこれも、かわいらし  
うございます。

【番】看守。  
【ねころんだり】横睡着。  
【送りました】送丁。

私わ、羊の番おしながら、歌お歌つたり、草の上  
ねころんだりして、一日お送りしました。  
夕方になつて、又、羊おつれて、うちに歸りました。  
美しい月が、高粱島の上に出ています。

練習

○野原に羊が遊んでいきます。

あちらえ行つたり、こちらえ來たりしてうれしそおで  
す。中にわ遠くまで行つていゝるものがあります。羊  
飼いが追いかけて行つて、むちおふると、おどろいて歸  
つて來ます。

○草を食べたり、水お飲んだり、木のかげに休んだりして

裏的水的。也有在樹蔭下  
休息的。無論那一個、都  
很可愛的。

我一邊看着羊、一邊唱着  
歌、或者在草上騎着、過  
去這一天。

到了傍晚、又領着羊、回  
家去了。美麗的月亮、在  
高粱地的上邊。

練習

○曠野裏羊在遊玩着。

跑到那兒、跑到這兒很  
歡喜的樣子。內中也有  
跑到很遠的地方去的。  
放羊的就追過去一揮鞭  
子、這樣驚恐的回來丁。

○吃着草啦、喝着水啦、在



います。どれもこれも、かわいらしゅうございます。  
 ○羊飼いわ一日中草の上にねころんで、歌お歌つていま  
 す。美しい月が、高粱畠の上に出るころ、羊おつれて歸  
 ります。

【砂糖】白糖。

同シ同様。見エル看得見。一ツ一個。シオカラク鹹。アマイ甜。味滋味。ナクテ沒有。ナラヌ不成、不行。テアル是。味噌大醬。醬油醬油。造ツタリ或是造。漬ケ物醬鹹菜。漬ケタリ或是漬。用イ使用。菓子點心、菓餅。砂糖漬ク用糖泡成的食物。我レ吾人、我等。大切ナ重要。アロオ吧、有吧。

〔十七〕 鹽ト砂糖

(原書三七、三八、三九頁)

鹽ト砂糖ワ、チヨツト、見ルト、同ジヨオニ見エル  
 ガ、一ツワシオカラク、一ツワアマイ。シカシ、ド  
 チラモ、食ベ物ノ味オツケルノニ、ナクテワナラ  
 ス物デアアル。ソノ外、鹽ワ、味噌ヤ醬油オ造ツタ  
 リ、漬ケ物オ漬ケタリスルノニモ用イ、砂糖ワ、菓  
 子オ造ツタリ、砂糖漬ケオシタリスルノニ使ウ。  
 コノヨオニ、我レニ取ツテ大切ナ鹽ト砂糖  
 ワ、何カラ取ツタノデアロオ。

樹蔭休息啦、無論那一  
 個都很可愛的。  
 ○放羊的整天騎在草上、  
 唱着歌。到美麗的月亮  
 從高粱地出來的時候、  
 纔領着羊回去。

〔十七〕 鹹鹽和白糖

鹹鹽和白糖、稍微一看、  
 看着很像一樣、可是一個  
 是鹹的、一個是甜的。但  
 是那一個都是調和食物的  
 味道所不可缺少的東西。  
 這以外鹹鹽又可以造醬和  
 醬油又可以用作漬鹹菜。  
 白糖是又可以造點心又可  
 以用作糖罐頭。像這樣對  
 於我們所最要緊的鹹鹽和  
 白糖。是從那兒取來的呢。

多ク海水。多ク海水。多ク海水。多ク海水。  
 取ル採取。取ル採取。取ル採取。取ル採取。  
 鹽田地名。鹽田地名。鹽田地名。鹽田地名。  
 旅順地名。旅順地名。旅順地名。旅順地名。  
 普蘭店地名。普蘭店地名。普蘭店地名。普蘭店地名。  
 子窩地名。子窩地名。子窩地名。子窩地名。  
 蘇州地名。蘇州地名。蘇州地名。蘇州地名。  
 奉天地名。奉天地名。奉天地名。奉天地名。  
 哈爾濱地名。哈爾濱地名。哈爾濱地名。哈爾濱地名。  
 甜菜植物的一種。甜菜植物的一種。甜菜植物的一種。甜菜植物的一種。  
 根。根。根。根。  
 汁。汁。汁。汁。  
 工場工廠、製作、製造。工場工廠、製作、製造。工場工廠、製作、製造。工場工廠、製作、製造。  
 滿洲地名。滿洲地名。滿洲地名。滿洲地名。  
 各地各處。各地各處。各地各處。各地各處。  
 出來々作成了。出來々作成了。出來々作成了。出來々作成了。

鹽ワ山カラモ出ルガ、多クワ海水カラ取ル。貔子窩、普蘭店、旅順ナドニワ、大キナ鹽田ガアル。砂糖ワ、サトオキビノクキヤ、甜菜ノ根ニアル、アマイ汁カラ取ル。奉天ヤ哈爾濱ニワ、砂糖オツクル工場ガアツテ、滿洲ノ各地デ出來タ甜菜カラ、砂糖オコシラエテイル。

練習

- 鹽ト砂糖ワドチラモ色ガ白クテ、ヨクニテイマスガ、鹽ワシオカラク、砂糖ワアマクテ、味ワマツタクチガイマス。
- 鹽ワ味噌ヤ醬油オ造ツタリ、鹽漬ケオシタリスルニ使イマス。砂糖ワ菓子オコシラエタリ、砂糖漬ケオシタリスルニ用イマス。
- 鹽ワ山カラモ出ルガ、タイテイワ、海水カラ取リマス。砂糖ワサトオキビノクキヤ、甜菜ノ根ニアルアマイ汁

鹹鹽雖然也出在山上、大多數是從海水裏取的。貔子窩、普蘭店、旅順等地方、有很大的鹽田。白糖、是從甘蔗的莖上、和甜菜根上的甜汁取的。奉天和哈爾濱有造糖的工廠、用滿洲各地所產的甜菜製造白糖。

練習

- 鹹鹽和白糖顏色都是白的、看着相像、可是鹹鹽是鹹的白糖是甜的、味兒完全差。
- 鹹鹽可以製造醬和醬油、還可以漬鹹菜。白糖可以用來作點心、糖罐頭。
- 鹹鹽雖然也從山上出、大概都從海裏取。白糖是從甘蔗的莖上、和甜

カラ取りマス。

○滿洲ニワトコロト、ニ大キナ鹽田ガアリ、砂糖オツクル工場モ各地ニアリマス。

〔十八〕 夕方 (原書三九、四〇、四一頁)

日ガハイリマス。  
西ノ空ガ、一面ニ赤クナツテ、チヨオド、火ガモエ  
ルヨオデス。

夕ヤケ、コヤケ、  
ハタノハタノ高粱ワ、  
ナント、セガ高イナ。  
頭ガコゲルゾ。

子ドモガ、歌オ歌イナガラ、ウチエ歸ツテ行キマ  
ス。

菜根上の甜汁取的。

○滿洲處處有大鹽田、製造白糖の工廠各地也有。

〔十八〕 傍晚

日頭沈下去。  
西邊的天空、變成一片通紅、簡直像火在燃燒着一樣。

火燒雲、火燒雲、  
莊稼地裏的高粱、  
那個兒是多麼高哪。  
腦袋要燙焦了啊。

小孩子們、一邊在唱着歌  
走回家去。

〔ハイリマス〕進去、下去。

〔西〕西方。

〔火〕火。

〔モエル〕燒。

〔コヤケ〕火燒雲。

〔ハタ〕田地。和「ハタケ」一樣。

〔セ〕個子、身子。  
〔ナ〕啊、呢。感嘆語。有時也作命令的否定語。

〔コゲル〕焦。  
〔ゾ〕啊。一種感嘆和加強意思的語句。

〔歌イ〕唱。

羊<sup>ヒツジ</sup>モ、野原<sup>ノ</sup>カラ歸<sup>キ</sup>ツテ來<sup>キ</sup>マス。馬<sup>ウマ</sup>モ、牛<sup>ウシ</sup>モ、歸<sup>キ</sup>ツテ來<sup>キ</sup>マス。

カサ、ギガ、高<sup>タカ</sup>イ木<sup>キ</sup>ノ枝<sup>エダ</sup>ニ鳴<sup>ナ</sup>イテイマス。

夕<sup>ユフ</sup>ヤケ、コヤケ、

空<sup>ソラ</sup>ノ空<sup>ソラ</sup>ノカサ、ギワ、

ナント、尾<sup>オ</sup>ガ長<sup>ナガ</sup>イナ。

長<sup>ナガ</sup>イ尾<sup>オ</sup>ガコゲルゾ。

子<sup>コ</sup>ドモノ歌<sup>ウタ</sup>ガ、マダ聞<sup>キ</sup>コエテ來<sup>キ</sup>マス。

アレ、東<sup>ヒガシ</sup>ノ空<sup>ソラ</sup>ニ月<sup>ツキ</sup>ガ出<sup>デ</sup>マシタ。

練習

○日<sup>ヒ</sup>ガハイリマス。西<sup>ニシ</sup>ノ空<sup>ソラ</sup>ガ火<sup>ヒ</sup>ノモエルヨオニ赤<sup>アカ</sup>クナ

ツテイマス。

○子<sup>コ</sup>ドモガ歌<sup>ウタ</sup>オ歌<sup>ウタ</sup>イナガラ、ウチエ歸<sup>キ</sup>ツテ行<sup>イ</sup>キマス。羊<sup>ヒツジ</sup>

モ野原<sup>ノ</sup>カラ歸<sup>キ</sup>ツテ來<sup>キ</sup>マス。馬<sup>ウマ</sup>モ、牛<sup>ウシ</sup>モ歸<sup>キ</sup>ツテ來<sup>キ</sup>マス。

羊也從曠野裏回來。馬和牛也都回來。

喜鵲在很高的樹枝上叫着。

火燒雲、火燒雲、

天空中的喜鵲、

那尾巴是多麼長哪。

長尾巴要燙焦了啊。

小孩子們的歌聲、又能聽

得見。

啊、東邊的天空中、月亮出

來了。

練習

○日頭落下去。西空像火燒一樣通紅的。

○小孩子一邊唱着歌回家去、羊也從曠野回來。

馬和牛也都回來。喜鵲

カサ、ギガ木ノ枝ニトマツテ鳴イテイマス。

○東ノ空ニ月ガ出マシタ。

【廣つば】空地、空場。

〔十九〕 廣つば (原書四一、四二、四三、四四、四五頁)

【へいたいごつこ】兵隊遊

【たいちよお】隊長。

【一郎】人名。

【向け】向、轉個兒。

【ごおれい】號令。

【向きます】轉。

【進め】向前進。

【進みます】前進。

【ぜんたい】大家。

【とまれ】停住。

【まわれ】旋轉。

停在樹枝上叫。

○東方的天空、月亮出來了。

〔十九〕 曠場

男の子が、お、ぜい、廣つばでへいたいごつこお

しています。たいちよおわ、一郎さんです。

「右向け、右。」

ごおれいがかゝると、みんな右に向きます。

「左向け、左。」

こんどわみんな左え向きます。

「前え、進め。」

みんなが前え進みます。

「ぜんたい、とまれ。」

「まわれ、右。」

許多男孩子。在曠場上學

兵操玩兒。隊長是一郎。

「向右轉。」

一喊號令、大家都向右轉了。

「向左轉。」

這回都向左轉了。

「向前開步走。」

都向前開步走了。

「全體站住。」

「向後轉。」

「全體站住。」

「向後轉。」

【夕日】落日。  
 【はいろお】正要下去、打算下去。  
 【女の子】女小孩。  
 【はねけり】踢毽子 遊戲的一種。

【あら】驚訝時說的話。

【仙花】女孩子名。  
 【番】順次。

【はね】毽兒。  
 【落とした】掉了。  
 【思う】想、合計、作模。  
 【ぼんく】形容踢毽的樣子。

【けつて】踢着。  
 【六つ】六個。

【まあ】唔。說話時引頭說的語句、並沒有意思。  
 【上手】熟練。老手。

【けります】踢。也叫做「ケマス。」

みんながとまつて、まわれ右おします。向こおの山に赤い夕日がはいろおとしていきます。女の子も、たくさん、廣つばではねけりおしてきます。

「一つ、二つ、三つ、四つ。」

「あら、落ちた。」

「こんどわ、仙花さんの番です。」

仙花さんわ、はねお手から落としかと思うと、

もおぼんく、けつていきます。

「一つ、二つ、三つ、四つ、五つ、六つ、七つ。」

「まあ、お上手ね。」

「こんどわ、月英さんですよ。」

みんながよくけります。その中に、夕日がはいつてしまいました。

大家都站住了、向後轉了。那邊的山上、紅夕陽要沈下去了。

許多女孩子也在曠場上踢毽子。

「一個、兩個、三個、四個。」

「啊、掉了。」

「這會是仙花的班兒了。」  
 仙花剛把毽子從手裏掉下來、就「碰碰」的踢着。

「一個、兩個、三個、四個、五個、六個、七個。」

「唔、真好。」

「這回是月英的班兒哪。」  
 大家都很能踢。這時候、夕陽沈下去了。

「光り出しました」開始亮了。

女の子が歸りました。男の子も歸りました。あたりが暗くなりました。星が光り出しました。

### 練習

○廣つばで子供がたくさん遊んでいます。男の子わへいたい遊びをしています。女の子わはねけりおしています。

一郎さんのごおれいが、よくひびきます。みんなわ、ごおれいのおりにうごきます。

向こおの山に赤い夕日が、はいろおとしています。

○仙花さんも、月英さんも、よくはねおけます。手から落としたかと思うと、もおぼん／＼けつています。その中に、夕日がはいつてしまいました。

○女の子が歸りました。男の子も歸りました。あたりが暗くなりました。星が光り出しました。

女孩子回去了、男孩子也回去了。四周圍黑起來了。星星亮起來了。

### 練習

○空場上許多小孩在玩兒。男孩子學兵操玩兒。女孩子踢毬子。

一郎的號令很響。大家照號令的様子動。

那邊的山上。紅夕陽要沈下去。

○仙花和月英都很能踢毬子。毬子剛從手裏掉下來，就「碰碰」的踢着。這時夕陽沈下去了。

○女孩子回去了。男孩子也回去了。四周圍黑起來了。星星亮起來了。

【綱引キ】團體運動的一種。

【サケブ】喊叫。

【運動場】操場。

【ヒキワタツチ】四面的響着。

【勇マシク】勇敢的。  
【カ、リマシタ】下了。叫了。

【シツカリト】堅牢的。

【綱】粗繩子。

【ニギリマシタ】捏了。

【ピリ／＼ッ】哨子的聲音。

【ヨイシヨ】用力時候的喊叫。

【引キマシタ】拉了。「引キマ」的過去。

【應援】呼應援助。

【イヨ／＼】漸次的。

【サカンニ】興益了。

【ハイラナク】進不去。

【タゞ】僅、只。

【目先】眼睛的前邊。

【旗】旗子。

【勝負】勝敗。輸贏。

【齒】牙齒。

【クイシバリ】咬緊。

〔二十〕綱引キ (原書四五、四六、四七頁)

「白勝ッヨオニ。赤勝ッヨオニ。」トサケブ聲ワ、

廣イ運動場ニ、ヒキワタツテイマス。

「用意。」ノ號令ガ、勇マシクカ、リマシタ。私タ

チワ、兩手デ、シツカリト、綱オニギリマシタ。

「ピリ／＼ッ。」ト、始メノ笛ガ、鳴リマシタ。

「ヨイシヨ。」「ヨイシヨ。」

私タチワ、ムチュウニナツテ引キマシタ。應援

ノ聲ガ、イヨ／＼、サカンニナリマス。シカシ、ソ

レモ、耳ニハイラナクナツテシマイマシタ。

タゞ、目先ニ、チラ／＼ト先生ノ旗ガ、見エルバカ

リデス。

勝負ワ中々ツキマセン。私タチワ、齒オクイシ

〔二十〕拔河

「讓白的贏。」讓紅的贏。」

這樣喊着的声音、在廣闊

的運動場裏響激着。

「準備。」的號令、勇壯的

喊起來了。我們把兩只手、

緊緊的握着繩子。

「批批。」這樣、開始的哨

子。響起來了。

「唉呵。」「唉呵。」

我們忘去了一切的拉着了。

應援的聲音、漸漸響起來。

但是、這個也不能進到耳

朵裏來了。眼時前邊、只

看見先生的旗、在颯動。

勝負真不易決定。我們咬

緊。



【フンパツチ】踏著。

【ドオヤラ】怎麼一來、好容易。

【ウシ】使勁的樣子。

【終ワリ】完結、終結、終了。

【勝チ】勝。

【フラレマシタ】「拂動了」的敬語。

【トビ上ガツテ】跳起來。

【バンザイ】歡呼時候喊的話。

【サケビマシタ】叫了。呼喊。

バリ足アシオフンパツテ、一生イツシヨクケンメイ引キマシタ。

ドオヤラ、綱ガコチラエクルヨオデス。「モオ少スコ

シダ。」トユウ聲ニ、ウント元氣ゲンキオ出ダスト、綱ワ、ズ

ンズンコチラエ來マス。ソノ中ニ、終オワリノ笛

ガ鳴リマシタ。「赤勝チ。」トイツテ、先生ワ、旗オ

フラレマシタ。私タチワトビ上アガツテ、「バンザ

イバンザイ。」トサケビマシタ。

### 練習

綱引キガ始マリマシタ。用意ノ號令ガ、勇マシクカ、リ

マシタ。ミンナ兩手デシツカリ綱オニギツテイマス。

始メノ笛ガ鳴リマシタ。兩方リヨオホオトモムチュウニナツテ引

キマス。應援ノ聲ガ、サカンニサケバレマス。勝負ワ中

中ツキマセン。ダレモ齒オクイシバリ、足オフンパツテ

一生ケンメイデス。

ドオヤラ、綱ガ赤ノ方エヒカレルヨオデス。見テイル中

緊着牙、踏著脚、拼命的拉着。

不知怎麼的、繩子好像向前邊來。「快了。」喊着這個聲音、努力拿出了精神、

繩子就一點點到這邊來。

這時候、完了的哨子響了。

「紅的贏。」這樣說着、先生搖着旗子了。我們高跳起來、「萬萬萬歲」的叫喊起來。

### 練習

開始拔河了。準備的號令勇壯的喊起來了。大家都用兩手使勁捏着繩子。開始的哨子響了。兩邊都忘去了一切的拉着。應援的聲音熱鬧的響着。總是不分勝敗。誰都咬緊着牙、踏著脚拼着命的拉着。

不知怎麼的繩子像被紅的

ニ、ズン／＼赤ノ方エヒカレマス。ヤガテ、終ワリノ笛ガ  
鳴リマシタ。「パンザイ。」ノ聲ガアタリニ、ヒマキワタツ  
テイマス。

「二十一」お祭り (原書四八、四九、五〇頁)

朝あさから、爆竹ばくちやくや太鼓たいこやどらの音おとがします。今日きよ

わびよお廟みよおのお祭りです。

おひるすぎに、おばさんのうちから、秀英しゅうえいさんと、

玉英ぎょくえいさんが來きましたので、三人さんじんで廟みよおにまいりま

した。

廟みよおの前まえの道みちにわ、兩りよおがわに、色いろ々な店みせがならんで

います。おもちゃやにわ、らっぱや笛ふえやにんぎ

よおなどがならべてあります。かざぐるまや

ふうせんだまお賣うる店みせもあります。菓子かしや果くだ

【廟】寺院。

【おひるすぎ】過午。

【おばさん】伯母、叔母、姑母、舅母。

【秀英】女孩子名。

【玉英】女孩子名。

【三人】三人。

【まいりました】參拜、拜廟。

【おもちゃ】玩藝兒。

【にんぎよお】玩具之一種。

【ならべて】擺列著。

【ふうせんだま】玩具之一種。

一邊拉過去了。眼看着漸  
漸被紅的一邊拉過去了。  
不一會完了的哨子響了。  
「萬歲」的聲音從四面響徹  
着。

「二十一」廟會

從早晨起、就響着鞭炮和  
鑼鼓聲。今天是廟會。

過了晌午、秀英和玉英從  
大娘家裏來了、所以三個  
人到廟裏去了。

廟前邊的道。兩旁排列着  
各色各樣的店。玩具店裏  
是擺着喇叭啦、哨子啦、  
泥人等東西。也有賣風車  
和汽球的店。也有點心和

「うどん」大碗麵。  
「賣る」賣。

「出さかり」出入總多。說來  
往人多的意思。

「おがんで」拜謁、跪拜。  
「香」香火。  
「たいて」黏、燒、焚燒。

「廣場」空地、空場。和「廣  
場」一樣。

「しばい」戲。  
「始まつて」起始着。  
「のぞき」娛樂的一種。

「見せ物」看的東西。  
「がんく」形容鑼鼓聲。  
「にぎやか」熱鬧。  
「それら」那許多。

物の店もあります。うどんなどの食べ物お賣  
る店でわ、大きな聲で、お客およんでいます。

ちよおど、人の出さかりで、廟の前にわ人が大ぜ  
いおがんでいます。私どもも、香おたいておが  
みしました。

廣場でわ、しばいが始まつていました。又のぞ  
きやてじなや色々な見せ物がなりました。「じ  
やんく」。「がんく」。

とたいそおにぎやかで  
す。私どもわ、それらお見てうちに歸りました。

練習

○今日わ廟のお祭り、朝から爆竹や太鼓やどらの音が  
します。

○おひるすぎ、秀英さんと玉英さんと私の三人で廟えま  
いりました。

鮮貨店。賣麵啦一些食物  
的店、在大聲喊着願主。

正是人多的時候、廟前有  
許多人在拜着。我們也燒  
了香拜了。

大廣場裏、野台戲開始了。  
還有西洋鏡啦變戲法啦許  
多玩藝兒。「咚咚」「噹噹」  
的真是熱鬧。我們看完了  
這些回家了。

練習

○今天是廟會、從早晨就  
響着鞭炮和鑼鼓聲。

○過了晌午、秀英和玉英  
和我三個人到拜廟去  
了。

○廟の前の道の兩がわにわ、おもちやお賣る店、かさぐるまお賣る店、ふうせんだまお賣る店、菓子屋、果物屋などがならんでいます。又うどんなどの食べ物お賣る店もあります。

○今は人の出さかりで、廟の前わ、人でいっばいです。私たちも香おたいておがみました。

○廣場でわ、しばいや見せ物で、にぎやかです。じやんじやん、がんと鳴り物おならして、人お呼んでいます。

【三十二】 シンバイ (原書五〇、五一、五二頁)

【アタイ】舞台。  
【ニギヤカニ】熱鬧的。  
【クライ】隨後。  
【フリ】推動。  
ビヨオ 廟ノ前ノ廣場デワ、モオシバイガ始マツテイマ  
ス。大ゼイノ人ガ、ソノ前ニ集マツテ、見テイマス。  
ブタイノ上デワ、「ジャンくく。」「ガンくく。」「ト、

ニギヤカニ、カネヤドラオ鳴ラシテイマス。  
白イ顔ノ人ガ、ケライオツレテ、ムチオフリナガ

○廟前邊的路兩旁、排列着賣玩具的舖子、賣風車的舖子、賣汽球的舖子、點心舖、鮮果舖等。也有賣麵等吃食的舖子。

○現在正是人多的時候、廟前邊擠滿了人。我們也點了香拜了。

○廣場上有戲和各種玩藝兒熱鬧啦。鏘鏘康康的響着金器喊着人。

【三十二】 野台戲

廟前邊的大廣場裏、野台戲已經開始了。許多人聚集到那前邊看着。

戲台上邊、「咚咚」「噹噹」熱鬧的響着銅鑼聲。

白臉的人、領着家將、一

ラ、出<sup>チ</sup>テ來<sup>キ</sup>マシタ。アノ人ワ、馬<sup>ウマ</sup>ニ乘<sup>ノ</sup>ッテイルノ  
デス。

【立<sup>チ</sup>トマル】立住。  
【歌<sup>イ</sup>出<sup>シ</sup>マシタ】唱起來  
了。  
【ヨロイ】鎧甲。  
【着<sup>タ</sup>】穿了。  
【刀<sup>タ</sup>】大刀。  
【フリマワシテ】四處轉動。

立<sup>チ</sup>トマルト、大<sup>キ</sup>ナ聲<sup>コエ</sup>デ、歌<sup>ウタ</sup>オ歌<sup>イ</sup>出<sup>シ</sup>マシタ。  
ソコエ、ヨロイオ着<sup>キ</sup>タ人ガ、刀<sup>カタナ</sup>オフリマワシテ出<sup>デ</sup>  
テ來<sup>キ</sup>マシタ。

【殘<sup>ツ</sup>テ】剩餘。  
【キリ合<sup>イ</sup>】互相接戰。

白<sup>シロ</sup>イ顔<sup>カオ</sup>ノ人ワ、ニゲテ行<sup>イ</sup>キマシタ。ケライイタチ  
ガ、アトニ殘<sup>ツ</sup>テ、キリ合<sup>イ</sup>オ始<sup>メ</sup>マシタ。人ガ  
ハネマワリマス。刀<sup>カタナ</sup>ガ光<sup>ヒカ</sup>リマス。見<sup>ミ</sup>テイル人

【ハネマワリマス】進跳、翻  
跟斗。

ワ、ミンナ、「ウマイ〜」。トホメテイマス。

### 練習

プタイノ上<sup>ウヘ</sup>デワ、カネヤドラオニギヤカニ、鳴<sup>ナ</sup>ラシテイマ

今<sup>イマ</sup>三<sup>サン</sup>國<sup>クニ</sup>誌<sup>シ</sup>ノシバイガ始<sup>ハジ</sup>マリマシタ。

白<sup>シロ</sup>イ顔<sup>カオ</sup>ノ曹<sup>ソウ</sup>操<sup>ゾウ</sup>ガケライオツレテ、ムチオフリナガラ、出<sup>デ</sup>  
來<sup>キ</sup>マシタ。立<sup>チ</sup>トマルト、大<sup>オホ</sup>聲<sup>コエ</sup>デ歌<sup>ウタ</sup>オ歌<sup>イ</sup>出<sup>シ</sup>マシタ。

邊搖着鞭子、出來了、那  
個人是在騎着馬。

一站住了、就大聲唱戲了。  
這時穿着盛甲的人、舞動  
着刀子出來了。

白臉的人、逃走了、家將  
們剩在後頭、開始交戰了。  
人在翻着跟斗。刀在亮。  
看的人都「好啊好啊。」的  
誇獎着。

### 練習

舞台上熱鬧的響着銅鑼。

現在開始三國誌的戲了。  
白臉的曹操領着將兵一邊  
搖着鞭子出來了。站住了  
就大聲唱歌了。

ソコエ、ヨロイオ着タ趙雲ガ、刀オフリマワシテ、出テ來マシタ。曹操ワニゲテ行キマシタ。ケライイガアトニ殘ツテ、キリ合イオ始メマシタ。人ガハネマワリマス。刀ガキラ〜光リマス。タイソオオモシロオゴザイマス。

這時穿着鎧甲的趙雲舞着刀出來了。曹操逃走了。將兵留在後頭打起來了。人翻着跟斗。刀閃閃發亮。很有趣。

【望小山】山名。

〔二十三〕 望小山

(原書五二、五三、五四頁)

〔二十三〕 望兒山

【熊岳城】南滿地名。

【母親】母。

【むすこ】子。

【二人】二人。

【暮らして】過生活。

【りつばな】偉大的。

【役人】官吏。

【なるお】打算作、想成爲。

【思つて】想着。

【れがつて】懇求、請求、願望。

【山東】省名。

【しけん】考試。

【受け】應、受。

【ところ】處、可、但是。

【あらし】暴風雨、颶風。

【しずんで】沈落。

【歸らない】不回來。

昔熊岳城に、母親とむすこが二人で、暮らしていました。

むすこわ、りつばな役人になるおと思つて、母親

にねがつて、山東え、しけんお受けに行きました。

ところが、途中あらしにあつて、むすこわ、船と一

しよにしずんでしまいました。

母親わ、むすこがいつまでも歸らないので、近所

從前熊岳城住着一個母親和兒子兩個人過日子。

兒子打算作一個大官、和

母親說了、就上山東去趕

考了。

但是途中遇上了狂風、兒

子和船一塊沈了。

母親因爲怎麼等着兒子也

【ながめて】眺望、遙望。

【のぼらぬ】不上去。

【村の人】村人、住在村裏的

人。  
【かわいそお】可憐、可嘆。

【つけました】加上了。

の山えのぼつて、今日わむすこの船が見えるか、明日わ見えるかと、毎日々々、海の方おながめていました。雨が降つても、風が吹いても、母親の山えのぼらぬ日わありませんでした。その中に、母親わとおく、病氣になつて、死んでしまいました。村の人たちわ、たいそおかわいそおに思つて、山の上に塔お立て、その山の名お望小山とつけました。

### 練習

○熊岳城に望小山とゆう小高い山があつて、山の上に塔があります。この塔の出来たことについて、かわいそおな、お話しがあります。

○昔、この村に母親とむすこの、二人ぐらしの家がありました。むすこは、りっぱな役人になろおと思つて、山東

不見回來、所以到附近山上去、今天能看見兒子的船吧。明天能看見吧、每天每天坐着看海的那邊。下雨颶風、母親也沒有一天不上山的。這期間母親終於病死啦。村裏的人都爲她可憐、就在山上立了個塔、把這個山起名叫作望兒山。

### 練習

○熊岳城有個叫作望兒山的高高的小山。山上有個塔。關於這個塔的造成有個悲哀的故事。

○從前這個村裏有一家母子兩個人過着日子。兒

えしけんお受けに行きました。ところが、途中大あらしにあつて、船と一しよに海にしずんでしまいました。○このことお知らない母親わ、いつまで待つても、むすこが歸らないので、山の上に登つて、毎日々々歸りを待つてゐました。雨が降つても、風が吹いても、母親の姿の山の上に見えない日わ、ありませんでした。その中に、母親わとおく、病氣になつて、死んでしまいました。村の人たちわ、かわいそおに思つて塔をたてました。そして、その山の名を望小山とつけたとゆうことです。

〔二十四〕 竈祭り (原書五四、五五、五六頁)

〔十二月二十三日〕十二月二十三日、竈祭りノ日デス。コノ日ニナルト、竈オキレイニ掃除シテ、壁ニハツテアル竈ノ神様ニ、飴オソナエマス。又、高粱ガラナドデコシラエタ、馬ヤマダサナドオカザリマス。

〔十二月二十三日〕十二月二十三日、竈祭りノ日デス。コノ日ニナルト、竈オキレイニ掃除シテ、壁ニハツテアル竈ノ神様ニ、飴オソナエマス。又、高粱ガラナドデコシラエタ、馬ヤマダサナドオカザリマス。

子想要作一個大官上山東趕考去了。可是途中遇見了暴風雨、和船一塊沈到海裏去了。○不曾知道這個事情的母親怎麼等着也不見兒子回來就登到山上、每天每天等他回來。不論下雨、不論颶風、沒有一天山上看不見母親的姿影的。這樣母親終於得病死了。村裏的人們很覺得可憐、就造了這個塔。把這個山起名叫望兒山。

〔二十四〕 祭 竈

十二月二十三、是過小年的日子。到了這一天、把廚房乾淨的灑掃後、對着貼在牆上的竈神、供上糖。再供着用秫稻作的馬和草



【祭り】祭祀。  
【出來上ガル】成功、作成、完成。

【蠟燭】蠟。  
【ツケ】點。

【線香】香。  
【天】天。  
【ナツタラ】若是那樣。

【殘ラズ】一點也不剩。

【オツシヤツテ】說着。是「イッテ」的敬語。

【祈リマス】祈禱。

【燒キマス】燃燒。

【オノホリ】「上昇」的敬語。  
【オ送り】「送」的敬語。

【ヤカテ】不多時候、不久。

【待ッ】等待。等候。

祭りノ用意ガ出來上ガルト、蠟燭オツケ、線香オ  
タイテオ祭りオシマス。ソシテ、

「神様、天ニオイデニナツタラ、ドオゾ、私ドモノ  
シタ善イ事オ、殘ラズ天ノ神様ニオツシヤツ  
テ下サイ。」

ト祈リマス。ソレガスムト、今度ワ、神様ノ繪オ、  
馬ナドト一ショニ、竈ノ前デ燒キマス。ソレカ  
ラ、外ニ出テ、サカンニ爆竹オ鳴ラシテ、神様ノ天  
ニオノボリニナルノオ、オ送りシマス。  
ヤガテ、又新シイ竈ノ神様ノ繪オハツテ、タノシ  
イオ正月オ待ッノデス。

### 練習

○竈祭りノ日ニナルト、竈オキレイニ掃除シマス。ソレカ  
ラ、壁ニハツテアル竈ノ神様ニ、飴オソナエマス。又高

祭祀的準備好了後、點上  
蠟燒上香祭祀了。於是、

「竈王爺、到了天上、請  
把我們作的好事、完全  
告訴給老天爺。」

這樣禱告了。這個完了後、  
這回把竈王爺的像和馬一  
些東西都在竈前燒了。再  
走到外邊、熱鬧的放起鞭  
炮、送竈王爺上天。不一  
會、又貼了新的竈王爺的  
像、等着快樂的正月。

### 練習

○到了祭竈的日子、就把  
廚房打掃乾淨。然後對  
貼在牆上的竈王爺供上

梁ガラナドデコシラエタ馬ヤ、マダサナドオカザリマ  
ス。

○馬ヲ神様ノ天ニオ上リニナル時、オ乘リニナルタメデ  
ス。 飴オソナエルノワ、神様ガ天ノ神様ニ一年中ノコ  
トオオツシヤル時、ワルイコトワ、口ガネバツテ、ユウコ  
トノ出来ヌヨオニ、スルタメデス。

○用意が出来上ガルト、蠟燭オツケ、線香オタイテ、オ祭り  
オシマス。 ソシテ「善イ事オ残ラズ天ノ神様ニオツ  
シヤツテ下サイ。」ト祈リマス。

○ソレガスムト、神様ノ繪オ馬ナドト一シヨニ竈ノ前デ  
焼キマス。 ソレカラ、外ニ出テ、爆竹オ鳴ラシテ、神様ノ  
天ニオ上リニナルノオオ送りシマス。

「二十五」爆竹 (原書五六、五七、五八頁)

爆竹オ鳴ラス音ガ、聞コエ出シマシタ。私ワ急

糖。再供上糝楷等所作  
成的馬和草料。

○馬是給神仙上天的時候  
騎的。供糖是神仙向老  
天爺告訴一年內的事情  
的時候使他因為嘴粘不  
能把壞事情告訴出來。

○準備好了，就點蠟燭點  
香祭祀。就禱告把好的  
事情都給告訴老天爺。

○完了就把神仙和馬一同  
在竈前燒了。完了走到  
外頭，放了鞭炮，送竈  
王爺上天。

「二十五」鞭炮

聽見了放鞭炮的聲音。我

【鳴ラス】「使…響」。放的意  
思。  
【聞コエ出シマシタ】開始聽  
見了。

【飛ビ出シマシタ】跳出去  
了。

【ボオン】形容鞭炮的聲音。  
【バチ】形容鞭炮的聲音。

【ツンポ】簞子。

【イラツシヤッタ】來了。「來  
マシタ」的恭敬語。

【ドオン】形容鞭炮的聲音。

【大砲】大砲。  
【鐵砲】洋鎗。

【鳴ル】響。  
【アレバ】也有。

【地面】地上。  
【ハイマワッテ】轉着爬。

イデ門ノ外エ飛ビ出シマシタ。

「ボオンノ、／＼、／＼、パチ／＼、／＼。」

アチラデモ、ユチラデモ、サカンニ鳴ラシテイマ  
ス。

私モ、爆竹ニ火オツケマシタ。

「ボオン。」

大キナ音ガシテ、耳ガツンポニナルヨオデス。

ソノ中ニ、オ母サンモ姉サンモ出テイラツシヤ

ッタノデ、私ワ、鳴ラスノオヤメテ一シヨニ見マ

シタ。

「ドオン。」ト大砲ノヨオナ音ガスルノモアリ

マス。「ボオン、／＼。」ト、鐵砲ノヨオナ音ガスル

ノモアリマス。高ク上ガツテ鳴ルノモアレバ、

地面オハイマワッテ鳴ルノモアリマス。

急忙奔到門外去了。

「嘖嘖嘖。劈拍劈拍劈拍。」  
那邊、這邊、都很熱鬧的  
響着。

我也用火點炸炮了。

「嘖。」

響着很大的聲響、耳朵都  
要聾了。

這時、母親和姐姐也都出  
來了。所以我不放了、一  
塊兒看了。

「咚。」也有像大炮一樣的  
聲音。「嘖、嘖。」也有像  
洋鎗一樣的聲音。也有昇  
得很高響的。也有在地面  
上爬着轉着響的。

【トツテ】作着、幹着。

【オツシヤツタ】「說了」的

敬語。

姉サング、

「オ前モヤツテゴラン。」

トオツシヤツタノデ、私ワ又始メマシタ。

練習

アチラデモ、コチラデモ、サカンニ爆竹オ鳴ラシテイマス。  
 「ドオン〜」ト大砲ノヨオナ音ノスルノモアリマス。  
 「ボン〜」ト鐵砲ノヨオナ音ノスルノモアリマス。  
 高ク上ガツテ「ポオン〜」ト鳴ルノモアリマス。  
 地面オハイマワツテ「パチ〜」ト鳴ルノモアリマス。  
 ソバニヨツテ聞クト耳ガツンボニナルヨオデス。  
 ハナレテ見ルト、ヤミノ中ニ花ガ咲イタヨオデス。  
 爆竹ワニギヤカナモノデス。

〔二十六〕 滿洲國

(原書五九、六〇、六一頁)...

滿洲國ワ、朝鮮ノ北ニアツテ、東北、西ノ三方ワ、高

姐姐說、

「你也放放看。」

所以我又開始了。

練習

那邊、這邊、都很熱鬧的  
 響着炸炮聲。  
 咚咚的、也有像火炮的聲  
 音。  
 嘖嘖的、也有像洋鎗一樣  
 的聲音。  
 也有昇得很高嘖嘖響着  
 的。也有在地面上轉着「  
 怕乞怕乞」響的。  
 走到旁邊一聽、耳朵像要  
 聾一樣。  
 離遠一看、像在黑暗中開  
 着花一樣。  
 炸炮真是熱鬧。

〔二十六〕 滿洲國

滿洲國是在朝鮮的北邊、

【滿洲國】國名。

【朝鮮】地名。

【北】北方。

【三方】三方面、高地、高原。

【朝鮮】

【北】

【東】

【西】

【高】

多イ多。  
中央當中。  
低ク低。  
南方。  
一方一邊。  
ノンテ「監着、朝着」。

國內國家邊境。

遼河河名。

松花江江名。

平野平原。

開ク開拓着。

大豆農産物的一種。

取レマス能够採取。

山地山地。

石炭煤。

鐵鐵。

海岸地方海岸地帶。

魚魚。

産スル出產。

少ク少。

地方地帶。

寒ク寒冷的。

シタカッテ「越：越」。

之、因而。

寒サ寒冷的程度。

キビシユウ「嚴厲」。

多オ多。

吉林「黑龍江」熱河

興安地名。

分カレテ「被分着、被分爲」。

【新京】地名。

【首府】首都。

【齊々哈爾濱】安東地名。

【都會】都市。

地ガ多イガ中央ワ低ク南ノ一方ワ海ニノゾン  
デイマス。

國內ニワ遼河松花江ナドトユウ河ガ流レテイ

テ、廣イ平野ガ開ケ大豆高粱ナドガ多ク取レマ

ス。又、所々ノ山地カラワ石炭鐵海岸地方カラ

ワ魚鹽オ産スルコトガ少クアリマセン。

南ノ地方ワ夏モアマリ暑クワナク冬モヒドク

寒クワアリマセンガ北エ行クニシタガツテ冬

ワ寒サガキビシユウゴザイマス。ソレデ、スン

デイル人ワ南ノ方ニ多オゴザイマス。

國內ワ奉天吉林黑龍江熱河興安ノ五省ニ分カ

レテイマス。

新京ワ滿洲國ノ首府デス。滿洲國ニワ、コノ外

奉天吉林哈爾濱齊々哈爾安東ナドノ大キナ都

東・北・西の三面高地多。  
中間低、南邊一面臨海。

國內有遼河・松花江一些

河水流着、開闢着廣大的

平原、出產許多大豆・高

粱。還有從各處的山地裏、

出產很多的煤・鐵、海岸

地帶、出產很多的魚・鹽。

南邊的地方、夏天也不很

熱、冬天也不太冷、可是

越往北去、冬天冷的厲害

所以住的人、南邊爲多。

國內分奉天・吉林・黑龍

江・熱河・興安五省。

新京、是滿洲國的首都。

滿洲國除這以外、有奉天・

吉林・哈爾濱・齊齊哈爾。

新シク新：的。  
 國國家。  
 平和和平。  
 重シク尊重、注重。  
 政治政治。  
 ツトメテ竭力、盡力、務  
 必。  
 サカエテ繁盛。

會ガアリマス。

滿洲國ワ新シク出來タ國デ、平和オ重ンジ、善イ  
 政治オシヨオトツトメテイマス。ソシテ、日ニ  
 月ニサカエテイキマス。

### 練習

「滿洲國ワドコニアリマスカ。」

「朝鮮ノ北ニアリマス。」

「地面ノヨオスワドンナデスカ。」

「東西北ノ三方ワ高地デ、南ワ海ニノゾンデイマス。中央  
 ワ低クテ、遼河、松花江ナドノ河ガ流レ、ソコニ廣イ平野ガ  
 開ケテイマス。」

「ドンナ產物ガアリマスカ。」

「平野カラワ、大豆、高粱ナドガ多ク取レマスシ、所々ノ山地  
 カラワ石炭、鐵ガトレ、海岸地方ニワ魚、鹽ガタクサン產シ  
 マス。」

安東等大都會。

滿洲國是新成立的國家、  
 重和平、極力施行善政。  
 而且在日新月異的興盛  
 着。

### 練習

「滿洲國在那兒呢。」

「在朝鮮的北邊。」

「地形的樣子是甚麼樣呢。」

「東・北・西的三面是高地  
 南面臨海、中間低有遼河、  
 松花江等河流着、那兒開  
 擴着廣大的平原。」

「有甚麼樣的產物呢。」

「從平原出產許多大豆、高  
 粱等、從各處山地裏、產煤  
 鐵、海岸地帶多產魚、鹽。」

氣候ワドンナデスカ。

南ノ地方ワ夏モアマリ暑クワナク、冬モヒドク寒クワアリマセンガ、北ニ行クニシタガツテ、夏ワ暑サガヒドク、冬ワ寒サガキビシユウゴザイマス。」

「國內ワドンナニ分カレテイマスカ。」

奉天・吉林・黑龍江・熱河・興安ノ五省ニ分カレテイマス。」

「大キナ都會ワ。」

「首府ノ新京オ始メトシ、奉天・吉林・哈爾濱・齊々・哈爾安東ナドデス。」

「滿洲國ワドンナ國デスカ。」

「滿洲國ワ新シク出來タ國デ、平和オ重ンジ、王道政治オ取ツテイル國デス。ソシテ日ニ月ニサカエテ行ク國デス。」

〔二十七〕 石炭 (原書六一、六二、六三頁)

私わ石炭です。大昔から、撫順の地の中に隠れ

「氣候是甚麼樣的呢。」

「南邊是夏天也不熱、冬天也不太冷、可是越往北去。夏天熱得很、冬天又冷得厲害。」

「國內是怎麼分着的呢。」

「分爲奉天・吉林・黑龍江・熱河・興安五省。」

「大都會呢。」

「以首都的新京爲始、有奉天・吉林・哈爾濱・齊齊哈爾・安東等。」

「滿洲國是甚麼樣的國家呢。」

「滿洲國是新興的國家、重和平、採取王道政治的國家。而且是日新月異繁盛着的國家。」

〔二十七〕 煤

我是煤。從很遠的從前、

大昔、往昔、古時。  
撫順地名。  
地。隱れて、隐藏着。

仲間同夥。掘り出されて掘り出され。

ふた、び、再、第二次。光り、光明。

黒くて、又黒。質、質。堅い、硬。

何百萬年、好幾百萬年。

植物、植物。

燃え、燒。力、力量。

風呂、洗滌時用的連盆帶爐的。一種東西。

わかしたり、或是燒沸。あたる、めたり、或是暖和。

役目、職務。石炭ガス、石炭瓦斯。

すがた、姿態。かえて、變換。なつたり、變成、成爲。

煮たき、煮燒。汽船、火輪船。

動かす、使、動。働けば、若是勞動。

世の中、世上、世界上。進む、進展。

ていましてたが、今度仲間と一しよに掘り出されて、ふた、び、お日様の光りお見ることが、出来るよおになりました。

私どもわ、色が黒くて、質が堅いから、一寸見ると、石のよおですが、石でわありません。何百萬年前に生えていた植物ですが、長い間土の中にいて、こんなになつたのです。

私どもわ、たいそおよく燃え、火の力も強いから、風呂おわかしたり、冬部屋おあたる、めたりする役目おします。又、石炭ガスにすがたおかえて、明かりになつたり、物の煮たきおしたりします。

しかし、それよりも大きな仕事わ、あの、汽車、汽船、お始め、色々な工場の機械お動かす事です。それで、私どもが働けば働くほど、世の中が進むの

藏在撫順的地裏了。可是這回和同伴們一塊兒被掘出來，又能够重見着日光了。

我們是黑色的，質地堅固，所以一看看像石頭一樣，但不是石頭。是幾百萬年前生的植物，可是因為長久住在土中，就變成這樣了。

我們很能燃燒，火力強，所以又作燒澡堂子，又作暖房和冬天的屋子的任務。還能把樣子變成石炭瓦斯，又能發亮光，又能煮東西。但是比這還更大的工作，就是轉動那火車，輪船以及各種工廠的機器。所以



です。

### 練習

○石炭の色が黒く、質が堅くて、石のよおです。しかし、石でわありません。大昔生えていた植物が長い間土の中に埋れて、あんなにかわつたのです。

○石炭がよく燃える上に、火の力が強いから、風呂おわかしたり、冬部屋おあたゝめるのにつかいます。又ガスおとつて明かりにしたり、物の煮たきおしたりします。それから汽車、汽船お始め、いろいろの工場の機械お動かすのにつかいます。石炭わこの世になくてわならぬものです。

〔二十八〕ありときりくす (原書六四、六五、六六頁)

北風の吹く寒い日の事です。一匹のやせおとろえたきりくすが、ありの家に来て、

我們越工作、世界就越進步。

### 練習

○煤の顔色黒、質地硬、像石頭一樣。但是不是石頭。是古時生着的植物。長久埋在土中變成那樣的。

○煤能燃燒、而且火力強、所以可以燒澡爐、又作煖和冬天的屋子的任務。還能作瓦斯、變作亮光、和煮東西。此外以火車輪船爲始、用作轉動各工廠的機器。煤是這世界上能缺少的東西。

〔二十八〕 螞蟻和蠅

蠅兒

是隨着北風的冷天的事。一隻瘦衰了的蠅兒、到螞蟻的家來、

【きりぎりす】蟲名。

【北風】北風。  
【やせおとろえた】瘦弱。

【腹】腹。  
【へつて】餓着。  
【死に】死。  
【めぐんで】惠施。

【あわれな】可憐的、可憐的。  
【たのみました】懇求、請求。

【通して】叫……進來。  
【さつそく】很快的。

【あたえました】交給了。

【喜んで】喜悅的。

【おかげ】托你的福。  
【助かりました】得救了。

【おかなかつた】沒有作着。

【こんな】這種、這類。  
【ひどい目】陷害、遺害、遭  
遇。橫禍。

【あいました】碰着了、遇着  
了。

【涙】眼淚。  
【流して】流着、淌着。  
【話しました】說話了。

「腹がへつてもお死にそおです。何か食べ物  
おめぐんで下さい。」

と、あわれな聲でたのみました。

「あゝ、きりくすさんですか。それわお困り  
でしよお。まあ、お上がりなさい。」

ありわ、きりくすお部屋に通して、さつそく食  
べ物おあたえました。きりくすわ、たいそお  
喜んで、それお食べながら、

「おかげで助かりました。私わ、長い夏の間、歌  
ばかり歌っていて、少しも冬の用意おしてお  
かなかつたのです。それで、こんなひどい目  
にあいました。ほんとおにはずかしいこと  
です。」

と、涙お流して話しました。ありわ、

「肚子餓的已經要死了。  
請實施一點甚麼吃的東  
西吧。」

這樣可憐的聲音求着。

「啊、是蠅蠅兒先生麼。

那是很困難了的吧。請  
進來。」

蠅蠅兒把蠅蠅兒領到屋子裏  
來。趕快把食物給他了。  
蠅蠅兒很歡喜的、一邊吃  
着、

「借你的光救了我啦。我  
在很長久的夏天、儘唱  
着歌一點也沒有作冬的  
準備。所以遭到這樣悽  
慘的狀態真是羞恥的事  
情。」

就這樣流着淚的說了。蠅蠅  
就、

「すぎさつた」完了的、過去

「來年」過年。  
「働きましたよお」工作吧。

「しんせつに」親愛的、親近的。  
「なぐさめました」慰問了。

「もお、すぎさつた事わ、仕方ありません。來  
年わ一生けんめいに働きましたよお。」  
と、しんせつになぐさめました。

### 練習

○ありわ暑い夏の間、一生けんめいに食べ物をおつめて、  
冬の間用意おしておきました。

○きりく、すわ長い夏の間、歌ばかり歌っていて、少しも  
冬の間用意おしておきませんでした。

○北風の吹く寒い冬になりました。きりく、すわやせ  
おとろえて、ありの家に来て、

「腹がへつて、もお死にそおです。何か食べ物おめぐ  
んで下さい。」

とあわれな聲でたのみました。

○ありわかわいそおに思つて、暖い部屋に通して、さつそ  
く食べ物おあたえました。そして、しんせつになぐさ

「已經是過去的事情了、  
也沒有法子。明年則努  
力幹一下吧。」  
這樣温和的安慰他了。

### 練習

○螞蟻在炎熱的夏天的時  
候努力儲存食物、作冬  
天的預備了。

○螞蟻兒在很長的夏天的  
時候、只是唱着歌一點  
也不作冬天的預備。

○到了颳着北風的寒冬了  
螞蟻兒瘦衰的到螞家  
蟻來。

「肚子餓的要死了。請賞  
賜一點甚麼吃的東西  
吧。」

這樣用悲衰的聲音求了

○螞蟻覺得螞蟻兒很可  
憐、領他到暖和的屋子  
裏、趕快拿食物給他了

めて、

「あなたわこれまで、たゞ歌つて遊んでいたから、こんなひどい目にあつたのです。しかし、もおすぎさつた事わ、仕方がありません。來年わ氣おつけなさいよ。」  
といゝました。

〔二十九〕 かしこい母親

（原書六六、六七、六八頁）

昔あるしずかなうら通りに、母親と、一人の男の子がすんでいました。

近くに墓場がありましたので、子供わ、毎日そこえ遊びに行つてわ、お經お讀んだり、そおしきのみまねおしたりしていました。

母親わ「これわ子供のためによくない。」と思つ

而且和愛的安慰他。

「你到現在是只知道唱歌遊戲、所以遭到這樣困難但是已經是過去的、也沒有法了。來年留意吧。」  
這樣說了。

〔二十九〕 賢母

從前在一個冷靜的小街上  
母親和一個男孩子住着。

隣近有一個墓地、所以小孩就每天到那去玩兒、念着經、學着葬禮的樣子。

母親想「這對小孩是很不

〔かしこい〕聰明、智慧。

〔うら通り〕裏街。

〔墓場〕墳地。

〔お經〕經文。  
〔讀んだり〕或是念。  
〔そおしき〕葬式。  
〔まね〕學樣子。

〔ため〕於。  
〔よくない〕不好。

【にぎやかな】熱鬧的。  
【ひっこしました】遷移了。

【物賣り】賣東西的人。

【よぶ】呼喊。

【こそお】學徒、徒弟。  
【し始めました】開始作了。

【いけない】不行、不好。

【かたわら】二旁邊。

【本】書籍。

【書いたり】或是寫。

【やつと】才好容易。  
【安心して】把心放宽。

【きめました】決定了。

【孟子】人名。

【學者】有學問的人。

て、そこから、にぎやかな町にひっこしました。  
ところが、子供わ、さつそく町お通る物賣りの聲  
やお客およぶこそおの聲等の、まねばかりおし  
始めました。

こゝもいけないと、今度わ、學校のかたわらえひ  
っこしました。すると、その子供わ、本お讀んだ  
り、字お書いたりするまねおするよおになりま  
した。母親わ、やつと安心して、いつまでも、そこ  
にすむことにきめました。  
この子供わ、大きくなつてから、孟子とゆうりつ  
ぱな學者になりました。

### 練習

○孟子わ小さな時、母親と一しよに墓場の近くにすんで  
いました。孟子わ毎日墓場に行つてお經お讀んだり、

好的」。就從那搬到熱鬧的  
街上去了。可是小孩就開  
始很快的儘學着街上賣東  
西的喊聲。和招呼買主的  
徒弟的喊聲。

這兒也不好哪。這次搬到  
學校的附近了。這樣、那  
個小孩就學着念書和寫字  
的樣子了。母親才放心了。  
就定規永遠住在那地方  
了。

這個小孩長大後、就成爲  
叫作孟子的偉大的學者。

### 練習

○孟子小時候和母親一塊  
住在墓地旁邊。孟子每

そおしきのまねをしたりして、遊びました。

○母親わ「これわ子供のためによくない。」と思つて、にぎやかな町にひつこしました。孟子わさつそくあきないの遊びを始めました。

○母親わこれお見て、「こゝもいけない。」と、今度わ學校のかたわらえひつこしました。すると、孟子わ本お讀んだり、字お書いたりする、まねおするよおになりました。

○母親わ安心して長くそこにすむことにしました。

○孟子わ大きくなつて、りつぱな學者になりました。

### 「三十」新 京

(原書六八、六九、七〇、七一頁)

新京ワ、滿洲國ノ都デ、モト長春トイ、マシタ。

四方ノ平野ニ出來タ產物ガ、コ、ニ集マルノデ、

商賣ガサカンド、町ワニギヤカデス。

町ワ、城内、商埠地、附屬地ニ分カレテイマス。ド

【長春】地名。  
【四方】四處、四面。  
【產物】出產的、東西。  
【集マル】集合。  
【商賣】營業。  
【サカン】興盛。  
【城内】城內。  
【商埠地】商埠地。  
【附屬地】附屬地。

天上墓地作念經和葬禮的樣子了。

○母親想「這對小孩很不好」。就搬到熱鬧的街上去。孟子又很快的作買賣的遊戲了。

○母親看着這個「這兒也不行」。這回搬到學校的旁邊去了。這樣孟子就學着念書和寫字的樣子了。

○母親這纔放心，就長久住在那兒了。

○孟子長大後，成了偉大的學者。

### 「三十」新 京

新京、是滿洲國的國都、原先叫作長春。四方的平原裏出的產物、都聚集到這裏所以商業繁盛、街市熱鬧。

街市分爲城裏、商埠地、附屬地。

【建テ物】房屋、樓房。  
【建チナランデ】並排的立

【車馬】車和馬。  
【往來】來去。  
【ハゲシユウ】匆忙。

【政府】政府。  
【會社】公司。

【銀行】銀行。  
【アリ】有。  
【役所】衙門。

【ハズレ】極端、盡邊、盡頭。  
【停車場】車站。

【鐵道】鐵道。  
【大連】地名。  
【便利】容易。

【中央通り】地名。  
【マツスケニ】簡直、一直。

【西公園】公園名。

【サビシイ】淒涼。  
【一農村】一個村落。

【百年】一百年。  
【次第】漸次、一點一點。  
【サカエ】繁榮。

コモ立派ナ建テ物ガ建チナランデ、車馬ノ往來ガハゲシユウゴザイマス。

城内ト、商埠地ニワ、滿洲國ノ政府ヤ學校ヤ會社、銀行等ガアリ、附屬地ニワ、日本ノ役所ヤ、學校ヤ、會社、銀行等ガアリマス。

附屬地ノハズレニ停車場ガアリマス。鐵道ワ

コ、カラ南、大連ニ行クモノ北、哈爾濱ニ行クモノ

東、吉林ニ行クモノガアツテ、タイソオ便利デ

ス。停車場オ出テ、中央通りオマツスグニ行ク

ト、西公園ガアリマス。

新京ワ、昔サビシイ一農村デシタガ、百年程前カ

ラ次第ニサカエ、滿洲國ノ首府トナツテカラワ、

一ソオニギヤカニナリマシタ。

到處排列着整齊的建築物、車馬的往來是極繁忙。

城裏和商埠地、有滿洲國的政府啦學校啦公司、銀行等、附屬地有日本的官衙啦學校啦公司銀行等。

附屬地的盡頭有火車站。鐵路從這往南、去大連、往北、去哈爾濱。往東去吉林。是很便利的。出火車站、由中央通一直走、是西公園。

新京、從前是一個冷靜的農村、可是從一百來年以前、漸漸繁盛、自從成爲滿洲國的首都以後更熱鬧起來了。

練習

練習

「新京ワモト何トイッテイマシタカ。」

「長春トイッテイマシタ。」

「町ワナゼ、ニギヤカナノデスカ。」

「商賣ガサカンデアルカラデス。」

「ナゼ商賣ガサカンデスカ。」

「平野ノマン中ニアツテ、ソノ平野ニ出來タ產物ガ四方

カラ集マルカラデス。」

「町ワドンナニ分カレテイマスカ。」

「城内ト商埠地附屬地ニ分カレテイマス。」

「町ノヨオスワ。」

「城内ト商埠地ニワ滿洲國ノ政府ヤ學校・會社・銀行等ノ

立派ナ建物ガ並ンデオリ、附屬地ニワ、日本ノ役所ヤ、學

校・會社・銀行等ノ大建築物ガアリマス。」

「新京ワナゼ便利デスカ。」

「鐵道ワ新京カラ南、大連ニ行クモノ、北、哈爾濱ニ行クモ

ノ、東、吉林ニ行クモノガアルカラ、便利ナノデス。」

「新京原先叫甚麼呢。」

「叫長春。」

「街市爲甚麼熱鬧呢。」

「因爲商業繁盛。」

「因爲甚麼商業盛呢。」

「因爲在平原的中間、那

些平原裏作成的產物、

從四方聚集來。」

「街市是怎麼分着的呢。」

「分爲城裏和商埠地、附屬地。」

「街市的樣子呢。」

「城裏和商埠地排列着滿

洲國的政府和學校、公

司、銀行等整齊的建築

物、附屬地有日本的官

衙和學校公司銀行等大

建築物。」

「新京爲甚麼便利呢。」

「鐵道從新京往南到大連

往北到哈爾濱、往東到

吉林、所以便利。」



【花咲カジ、イ】故事裏的人名。

【カッテ】飼養着。

【カロイカッテ】痛愛着。

【掘レ】挖哪。「掘ル」的命令語。

【ワン〜】形容狗的叫聲。

【教エマシタ】教了。

【掘ツテ】挖着。

【見マス】見。

【タカラ物】寶物、珍貴的東西。

「新京ワ昔カラ、ニギヤカデシタカ。」

「イ、エ、昔ワサビシイ一農村デシタ。ソレガ、今カラ百  
年前カラ、ダン〜、ニサカエ、トリワケ、滿洲國ノ首府ト  
ナツテカラワ、一ソオニギヤカニ、ナツタノデス。」

〔三十一〕 花咲カジ、イ (原書七二、七三、七四頁)

昔、昔、善イオジイサント、ワルイオジイサンガア  
リマシタ。善イオジイサンワ、犬オ一匹カッテ、  
タイソオカワイガツテイマシタ。アル日、犬ワ  
畠ノスミデ、

「コ、掘レ、ワン〜。コ、掘レ、ワン〜。」

ト教エマシタ。

善イオジイサンガ、ソコオ掘ツテ見マスト、土ノ  
中カラ、オ金ヤ、タカラ物ガ、タクサン出マシタ。

「新京從前就很熱鬧的麼。」不、從前是一個冷靜的農村。從一百年前來、一點々繁盛、尤其從成爲滿洲國的首都以來、更熱鬧了。」

〔三十一〕 開花老頭兒

很古時候、有一個好老頭兒和壞老頭兒。好老頭兒養一隻狗、是很愛着的。有一天、狗在田地的角隅、

「挖這地方、汪汪。挖這地方、汪汪。」

這樣教他了。

好老頭兒挖那地方一看、從土裏出來許多錢和寶貝。

【聞イテ】聞聽着。  
【カリ借】借。  
【ムリニ】強。強硬的、不講理的。

【鳴カセテ】「使、叫」

【ドロ水】泥水。  
【シカ】只有、僅具。

【コロシテ】殺死。

【カナシガツテ】覺着悲哀。

【松ノ木】松樹。  
【植エマシタ】種了。

【白】白。  
【コシラエマシタ】作了、製作了。

【米】米。  
【ツキマス】搗。

【ヤツパリ】依舊、仍然、還是。

ワルイオジイサンワ、ソレオ聞イテ、ソノ犬オカリニ來マシタ。ソシテ、畠エツレテ行ツテ、ムリニ犬オ鳴カセテ、ソコオ掘ツテ見マシタガ、キタナイドロ水シカ出マセン。ワルイオジイサンワ、腹オ立テテ、ソノ犬オコロシテシマイマシタ。

善イオジイサンワ、タイソオカナシガツテ、犬オウズメテ、ソノ上ニ、小サナ松ノ木オ植エマシタ。

松ノ木ワズン、大キクナリマシタ。善イオ

ジイサンワ、ソノ木オ切ツテ、白オコシラエマシタ。ソノ白デ、米オツキマスト、白ノ中カラ、又、オ

金ヤタカラ物ガ出マシタ。

ワルイオジイサンワ、又、ソノ白オカリニ來マシタ。ソシテ、米オツイテ見マシタガ、ヤツパリ、キ

壞老頭兒聽見了這個，把那隻狗借來了。於是領到地裏去，無理的使狗叫起來，把那地方挖了一看，可是只有骯髒的泥水。壞老頭兒生氣了，把那隻狗殺死了。

好老頭兒很悲哀，把狗埋起來，在那上邊種了一棵小松樹。

松樹漸漸長大了。好老頭兒把那個樹砍下來作白了。用那個搗米，就從白裏頭又出來錢和寶貝了。

壞老頭兒又把那個白借來了。於是搗米看了，可是依

【オコツテ】惱怒着。

【ワツテ】割破、劈破。  
【クベテ】燒。

【灰】灰燼。

【マキマシタ】撒了。  
【カレ木】枯了的樹木。

【ザル】小篋。

【咲カセマシヨオ】「使：開吧」。

【オ方】對於別人的尊稱。  
【オ通り】通過。  
【咲カセテ】使：開着。  
【見】看。

【オ、セ】囑咐。身分高的人的話。

【マキマス】撒。  
【花ザカリ】花朵盛開。

タナイ物ばかり出マシタ。又、オコツテソノ白  
オワツテ、火ニクベテシマイマシタ。

善イオジイサンワ、ソノ灰オモラツテ來テ、庭ニ  
マキマシタ。スルト、庭ノカレ木ノ枝ニ、キレイ  
ナ花ガ咲キマシタ。オジイサンワ喜ンデ、ソノ  
灰オザルニ入レテ、

「花咲カジ、イ、花咲カジ、イ、  
カレ木ニ花オ咲カセマシヨオ。」

トヨンデ歩キマシタ。  
エライオ方ガオ通りニナツテ、  
「オモシロイ事ダ。花オ咲カセテ見ヨ。」

トオ、セニナリマシタ。  
灰オマキマスト、カレ木ニ花ガ咲イテ一面ニ花

然儘是出來骯髒的東西。  
又生氣的把那個白劈了、  
用火燒了。

好老頭兒把那個灰要來、  
撒在院子裏了。這一來、  
院子裏的枯樹枝上、開了  
美麗的花。老頭兒歡喜了、  
把那個灰擱在小箱篋裏。

「開花老頭兒、開花老頭  
兒、讓枯樹上開花吧。」  
這樣喊着走了。

一個大人物走過了、  
「有趣哪。開開花看。」  
這樣命令了。

一撒灰、枯樹就開起花來、

「メズラシイ」珍奇、奇怪。  
「ミゴト」好看的奇事、

「オホメ」獎勵  
「ゴホオビ」賞品。  
「下サイマシタ」給了。

「話シ」話。  
「殘ッテ」剩着。  
「カキ集メテ」收集着。

「一ド」一次、一回。

「咲キマセン」不開。「サキマ  
ス」的否定語。

「オトモ」同伴。  
「灰ダラケ」都是灰、完全是  
灰。

「ニセモノ」假牌的東西。  
「ニクイ」可恨。  
「ヤツ」東西。

ザカリニナリマシタ。

「コレワメズラシイ。ミゴト〜。」

トオホメニナツテ、ゴホオビオ、タクサン下サイ  
マシタ。

ワルイオジイサンワ、コノ話シオ聞イテ、殘ッテ  
イタ灰オカキ集メテ、カレ木ニ上ッテ、エライオ  
方ノオ歸リオ待ッテイマシタ。

ソノ中ニ、エライオ方ガオ通りニナツテ、

「モオ一ド、花オ咲カセテ見ヨ。」

トオ、セニナリマシタ。今度ワ、イクラ灰オマ  
イテモ、少シモ花ガ咲キマセン。エライオ方ヤ、  
オトモノ人ノ、目モ口モ耳モ灰ダラケニナリマ  
シタ、

「コレワニセモノダ。ニクイヤツダ。」

開滿了一片的花。

「這真是希奇、好、好。」  
誇獎了、賞了許多獎品。

壞老頭兒聽見了這個、把  
剩下的灰收集來、爬到枯  
樹上等着大人物的回來。

這時、大人物走過了。

「再開一次花看看吧。」

這樣命令了、這回是怎麼  
撒灰一點也不開花。大人  
物和隨伴的人、眼睛、嘴、  
耳朵儘是灰了。

「這是假牌的。壞東西。」

トイツテ、トオ〜ワルイオジイサンオシバツ  
テシマイマシタ。

練習

○善イオジイサンワ、犬カラ「コ、掘レ、ワン〜。」トオシ  
エラレテ、畠ノスミオ掘ツテ見マスト、土ノ中カラオ金  
ヤタカラ物ガ、タクサン出マシタ。

ワルイオジイサンガ、犬オカリテ來テ、ムリニ鳴カセテ、  
ソコオ掘ツテ見マシタガ、キタナイドロ水シカ出マセ  
ンデシタ。

○ワルイオジイサンワ、犬オコロシマシタ。  
善イオジイサンワ犬オウズメテ、ソノ上ニ松ノ木オ植  
エマシタ。

松ノ木ワズン〜大キクナリマシタ。善イオジイサ  
ンワ、ソレオ切ツテ、臼オコシラエマシタ。

○善イオジイサンワ、ソノ臼デ米オツキマシタ。臼ノ中

這樣說着。終於把壞老頭  
綁起來了。

練習

○好老頭兒、狗教給他「挖  
這地方、汪汪。」把地的  
犄角挖啦一看、從土裏  
頭出來了許多錢和寶  
貝。

壞老頭兒把狗借來、硬  
使狗叫、把那兒挖啦一  
看、可是只有骯髒的泥  
水。

○壞老頭兒把狗殺了。  
好老頭兒把狗埋了、在  
那上面種了松樹。

松樹漸漸長大了。好老  
頭割了來作臼了。

○好老頭兒用那個臼搗米

カラ又オ金ヤタカラ物ガ出マシタ。

ワルイオジイサンワ、ソノ臼デ米オツキマシタ。ヤツ

バリキタナイ物バカリ出マシタ。

ワルイオジイサンワ、臼オワツテ、火ニクベテシマイマシタ。

○善イオジイサンワ、ソノ灰オモラツテ來テ、庭ニマキマシタ。庭ノカレ木ニ花ガ咲キマシタ。

善イオジイサンワ、エライ方ノ前デ、カレ木ニ灰オマイテ見セマシタ。カレ木ニ花ガ咲キマシタ。ゴホオビオタクサンモライマシタ。

○ワルイオジイサンワ、エライ方ノ前デ、カレ木ニ灰オマキマシタ。エライ人ヤオトモノ人ノ、目ヤ口ヤ耳ガ灰ダラケニナリマシタ。ワルイオジイサンワ、シバラレテシマイマシタ。

了。從臼裏又出來了錢和寶貝。

壞老頭兒用那個搗米了。也還是出些髒東西。壞老頭兒把臼劈啦用火燒了。

○好老頭兒把那個灰要來、撒在院子裏了。院子裏的枯樹開花了。好老頭兒在大人物的面前把灰撒在枯樹上給他看了。枯樹開花了。得了許多獎品。

○壞老頭兒在大人物的面前把灰撒在枯樹上了。大人物和隨伴的人、眼睛、嘴、耳朵儘是灰了。壞老頭兒被網上了。

補充教材

〔一〕 考エ物

私<sup>ワタクシ</sup>ニ<sup>リ</sup>、口<sup>クチ</sup>モ、目<sup>メ</sup>モ、耳<sup>ミミ</sup>モアリマセン。手<sup>テ</sup>モ、足<sup>アシ</sup>モアリマセン。マルイケレドモ、マリノヨオニマンマルデワアリマセン。生<sup>イ</sup>キテワイマスガ、動<sup>ウご</sup>クコトワデキマセン。私<sup>ワタクシ</sup>オコロガスコトワ、ダレニモ出<sup>デ</sup>キ<sup>キ</sup>マスガ、私<sup>ワタクシ</sup>オ立<sup>タ</sup>タセルコトヤ、二<sup>フタ</sup>ツカサネルコトワ、ドオシテモ出<sup>デ</sup>キ<sup>キ</sup>マセン。私<sup>ワタクシ</sup>ワ、外<sup>ソト</sup>ガカタクテ、中<sup>ナカ</sup>ガヤワラカデス。カタイモノニアタレバコワレマス。私<sup>ワタクシ</sup>ワナンデシヨオ。

〔二〕 ウサギ

ウサギガオ、ゼイヨツテ、ソオダンオハジメマシタ。「コノ山ノケモノワ、ミンナツヨクテ、イツモボクタチオ食<sup>ク</sup>ベヨオトスルカラ、モオ、コノ山オニゲ出<sup>ダ</sup>出<sup>ダ</sup>ソ

補充教材

〔一〕 猜謎

我沒有嘴、眼睛和耳朵。也沒有手、也沒有脚。雖然是圓的、可並不像皮球那麼溜圓的、雖然是活着、可是不會動彈。

誰都能够轉動我、可是無論如何誰也不能立住我、或是把兩個擦起來。我外邊是硬的、裡邊是軟的。若是碰着硬的東西就會壞的。

我是什麼呢。

〔二〕 兔兒

很多的兔子聚在一起、開始商量了。

「這山上的野獸、都是力強的、老想吃我們、這

オ。」

「一匹<sup>イツ</sup>キノウサギガ、コオ言イマスト、

「ソオダ<sup>ハヤ</sup>。早クヨソエウツツテシマオ、。」

ト、ミンナガ、サンセイシマシタ。

ソコデ、ウサギドモワ、ソロツテ、ソノ山カラニゲ出

シマシタ。山オ下<sup>オ</sup>リテ、川<sup>カワ</sup>ノトコロエ來<sup>キ</sup>マシタ。ソノ

川ニハシガカ、ツテイマシタ。ソノハシノ上ニ、カエ

ルガタクサンイマシタ。カエルワ、ウサギノ來タノニ

オドロイテ、ミンナ川ノ中<sup>ナカ</sup>エトビコミマシタ。

コレオ見<sup>ミ</sup>テ、一匹キノウサギガ、

「ナンダ、ヨワイケモノモアツタモノダ。ボクたちオ

コワガツテ、ミンナ水<sup>ミズ</sup>ノ中<sup>ナカ</sup>ニトビコンデ、ニゲテシ

マツタ。」

トイツテ笑<sup>ワラ</sup>イマシタ。

「アレワケモノカシラ。」

ホカノ一匹ガタズネマシタ。

就逃出這個山吧。」

一匹兔兒，這樣說着，

「對啦對啦，快些搬到別

的地方去吧。」

這樣，大家都贊成了。

於是，兔兒們，都一齊從

那個山上逃跑了。由山上

下來，來到河的地方來了。

那個河上架着一架橋。在

那個橋的上邊，有很多的

青蛙。青蛙看見來了兔兒

都很驚慌，都跳下河裡去

了。

看見這個的一匹兔兒，

「什麼，真有軟弱的野獸

啊，因為怕我們，都跳

進水裡逃跑了。」

這樣說着笑了。

「那是野獸嗎。」

別的一看這樣問了。



「キマツテイルヨ。足ガ四本ツイテイタデワナイカ。」  
ミンナガコオイ、マシタ。

「ソレデワ、モオケモノワコワクナイ。又モトノ山エ  
カエロオ。」

ミンナガ、マタモトノ山エカエリマシタ。

### 〔三〕 月の桂

昔、黄河のあたりに、吳剛とゆう人がいました。仙人  
になるおと思つて神様について、教えお受けていまし  
たが、神様のお氣にさわることがあつて、とおく、月  
の世界えおいやられました。そして、木こりにされて  
しまいました。

月の世界にわ高さが五百丈もある、大きな桂の木があ  
ります。きこりの吳剛わ、その桂の木おさることお、  
いゝつかりました。吳剛わ、一生けんめいになつて、  
晝も夜もきりつずけますが、ふしぎな事にわ、きつて

「一定啊。那不是有四支  
脚嗎。」  
大家都這樣說了。

「那麼、再不怕野獸了。  
還回原先那個山去吧。」

大家又都回原先那個山去  
了。

### 〔三〕 月裡的桂樹

古時、在黃河的臨近、有  
個叫做吳剛的人。他想成  
一個仙人、他就跟着神仙  
受教育、可是他做了不對  
神仙的心的事情了、終歸  
給他趕到月亮的世界去  
了。於是、就叫他當做伐  
木的人了。

月亮的世界裡有一棵高五  
百丈的大桂樹。伐木人的  
吳剛、就被叫伐那棵桂樹  
了。吳剛、他拼命的去做、  
不論白天或晚上他都繼續  
着砍了、可是奇怪的事情

もく、すぐきり口くちがなくなつてしまひます。百年ひやくねんたつても、二百年にひやくねんたつても、きりたおす事が出来できません。けれども、吳剛ごこおわ少しも休やすみません。今いまでも、やはりおのおふつて、夜よるとなく晝ひるとなく、きりつずけているとゆうことです。

満月まんげつの夜よる、氣きおつけて見みると、月つきの中なかに黒くろいところが見みえるでしよお。あれが、吳剛ごこおのきりつずけている桂かつらの木きだそおです。

〔四〕こびきさん

こっしいく、こびきさん。

力ちからのつよい、こびきさん。

のこぎり兩手りよおてに、上下うへしたで、

大きな材木ざいもくひいている。

こっしいく、こびきさん。

力ちからのつよい、こびきさん。

是、砍、砍、盡管怎樣去砍、那個被砍開的口、馬上都會沒有的。不怕經過一百年、或是經過二百年、也砍不倒它。可是吳剛他一點也不休息。現在還掄斧子、不管晝夜、據說老是那樣繼續着劈呢。

月圓的夜裡、若是注意點去看、不是能看見月亮裡有黑的地方嗎。都說那就是吳剛在繼續着砍那個桂樹呢。

〔四〕鋸木人

斯々斯々、鋸木人。

力氣大的、鋸木人。

鋸在兩手裏、上下的、

鋸着大的材木。

斯々斯々、鋸木人。

力氣大的、鋸木人。

ごっしいく、こびきさん。

いつもせいだす、こびきさん。

物もいわずに、働いて、

夕日ゆうひがしずむに、まだやめぬ。

ごっしいく、こびきさん。

いつもせいだす、こびきさん。

〔五〕 牛と百姓

昔むかしある百姓ひやくしよおの家に、一匹いつびきの子牛こうしが生まれましました。

「やあ、りっぱな牛うしが生まれましましたね。」

「しあわせでしたね。」

村むらの人たちが集あつまつて来て、口々くちぐちにこおいつてほめま  
した。百姓ひやくしよお大喜およろこびで、毎日まいにちやわらかい草くさお食たべさせ  
るために、野原のほらえつれて行いったり、きれいな小川おがわで水みづ  
おあびさせたりしました。

斯斯斯斯、鋸木人。

總肯出力氣的、鋸木人。

不出聲息、工做着、

暮日落了、還不休。

斯斯斯斯、鋸木人。

總肯出力氣的、鋸木人。

〔五〕 牛和農人

古時、有一個農人的家裏  
生下了一匹小牛。

「呀、生下了這樣好的牛  
啊。」

「真幸福啊。」

村裏的人都聚會來、口口  
聲聲的都誇獎着。這個農  
人非常歡喜、每天都爲的  
是要給他吃柔軟的草、把  
他領到原野裡、或把他領  
到乾淨的小河邊、給他洗  
澡。

子牛わすん／＼ふとつて來ました。角もだん／＼のびて來ました。

ところが、どおしたことが、その角わたいそお形のわるい角でした。

「へんな角だ。」

「あんな牛を持つていたら、きつとろくな事わあるまい。」

と村の人たちがい／＼出しました。それお聞くと、百姓わがつかりしてしまいました。

「角おなおすくふうわないかしら。」

それからわ、いつもこの事ばかりお、考えつずけていました。

やつと考えつきました。

「うん、そおだ。」

こおひとりごとおい／＼ながら、百姓わ、すぐさま牛おひき出して、太い木にしばりつけました。そして、角

小牛一點一點的長大了。角也一點一點的長長起來了。

可是不知道因為什麼，那個角的形狀很不好。

「奇怪的牛角啊。」

「有那樣的牛，一定不會有好的事情。」

村裡的人都這樣說着，聽見這個，農人就失望了。

「不曉得有沒有改換這牛角的方法。」

此後他就老是想着這件事情了。

可下子想出來了。

「哼，對啦。」

這個農人自言自語的，馬上把牛拉出來，給綁在粗的木頭上了。於是，把角上

につなをつけて、うち中のもの、一生けんめいひつばりしました。いくらひつばつても、角わちつともなおりそおでわありません。その中に、角わその根もとから、ぼきんとおれてしまいました。

〔六〕 水中ノ玉

昔昔、アルビンボオナ家ニ、ナカノヨイ二人ノ兄弟ガアリマシタ。天氣ノヨイ日、二人ワ、野原エ行キマシタ。ソコニワ、キレイナ川ガ流レテイマシタ。二人ワ手オヒキ合ツテ、ソノ川オ渡リマシタ。中ホドマデ來ルト、水ノ底ニ、ピカ／＼光ル物ガアリマス。二人ガオドロイテ、ヒロイ上ダテ見ルト、ソレワ、五色ノ光リオ持ツタ、美シイ玉デシタ。二人ワ喜ンデ、ソレオウチエ持ツテ歸リマシタ。ソシ

綁一根繩、一家子人、都拼命的拉了。盡管怎樣去拉、牛角一點也沒有轉好的樣子。這樣、牛角就由根上、一下子折斷了。

〔六〕 水中之玉石

很古很古的時候。在一個貧窮的人家裏，有兩個極相好的弟兄。有一天天氣很好，兩個人就到野外去了。那兒有乾淨的河在流着。兩個人手拉着手，去渡那個河了。到了中間的時候，在水底有一個閃閃發光的東西。兩個人很吃驚，拾起來一看，那是帶五色光彩的美麗的玉石。兩個人很歡喜把它拿回家去了。於是，就把它放在

テ、箱ノ中ニシマツテオキマシタ。

アクル日、ソノ箱オアケテ見ルト、フシギデアリマ

センカ。玉ト一ッシヨニ、金ヤ銀ガ一ハイッテイマ

ス。二人ワタイソオ喜ンデ、ソノ金ヤ銀オ取り出シテ、

フタオシテオキマシタ。

次ノ日、又、箱オアケテ見マシタ。スルト、コンドモ、

前ノヨオニ、金ヤ銀ガ一ハイッテイマシタ。

ソノ後、二人ワ、何度モ、フタオアケテ見マシタ

ガ、イツモ金ヤ銀ガ一ハイッテイマシタ。

兄弟ワ、玉ノオカゲデ、大金持チニナツタノデ、立派

ナ家オニツタテテ、分カレテ住ムコトニシマシタ。ソ

シテ、オ金ヤ品物モ、同ジヨオニニツニ分ケマシタ。

トコロガ、玉ワ一ツシカアリマセンカラ、分ケルコト

ガ出来マセン。兄ワ

「私ワ、モオオ金ワイラナイカラ、玉ワオ前ガ持ッテ

小盒裏了。

第二天、打開那個小盒一看、這不是奇怪嗎。在玉石一塊兒、裝着一下子金子銀子。兩個人極歡喜的把那金銀拿出來、又把蓋蓋上了。

次日、又把小盒打開看了。於是、這回也和上次一樣、裝着一下子金子和銀子。

從那以後、兩個人又把蓋兒打開看了好幾次、可是總有一下子金子和銀子。

兄弟二人借着玉石的光、發大財了、所以蓋了兩所很好的房子、分開居住了。還有、把金錢物品也都同樣的分成兩份。

可是、因為只有一個玉石、所以不能分、哥哥就

「我不再要錢了、所以玉

イルガヨイ。」

トイ、マスガ、弟オトオトワ

「ソレワイケマセン。ドオゾ、兄エイサンガ持モツテオツテ下クダサイ。」

トイツテ、聞キキマセンデシタ。

ソコデ、二人フタワソオダンシテ、ソノ玉タマオモトヒロツタ川カハノ中ナカエ、オイテ來クル事コトニシマシタ。

二人フタワ始ハジメ玉タマオ見ミツケタ所トコロニ行イツテ、ソレオオコオトシマシタ。スルト、オドロキマシタ。水ミヅノ底ソコニワ、モオ一ヒトツ同オナジ玉タマガ、光ヒカツテイルデワアリマセンカ。

「ア、兄エイサン、又マタ、玉タマガ。」

「ア、ソレデワ、神カミ様サマガ、二人フタ人リニ一ヒトツズツ下クダサツタノニ、チガイナイ。」

二人フタ人リワ喜ヨロコンデ、ツノ玉タマオヒロツテ歸カエリマシタ。ソシテ、

一ヒトツズツ玉タマオ持ヒツテ、イツマデモ、仕シ合アワセニクラシマシタ。

「石給你拿着吧。」

這樣說了，可是弟弟呢

「那可不行。還是請哥哥拿着吧。」

這樣說着沒有聽話。

於是，兩個人商量着，決定把那玉石，再放到原來拾的那河裡去。

兩個人到從前發見玉石那地方，打算要放下，於是吃驚了。在水的底下還有一個同樣的玉石，不是在發着光嗎。

「啊，哥哥，又是玉石。」

「啊，那麼，一定是神仙給我們兩個人一人一個的。」

兩個人歡喜着，拾起那個玉石回去了。那樣，一個人拿着一個玉石，永遠過着安寧的日子了。





康德元年十一月十五日 發行  
康德五年八月二十五日 八版發行



初等日本語讀本 卷三 譯註本

定價國幣 三角

郵費國幣 二分半

奉天市大和區藤浪町三十一番地

著者 大出正篤

奉天市大和區千代田通四十番地  
滿洲文化普及會

發行人 森川昇二

奉天市大和區協和街路  
立花印刷株式會社

印刷者 橘秀一

奉天市大和區千代田通四〇(馬路灣)

總批發處 滿洲圖書文具株式會社

電話(三) 五四九四番  
振替口座 奉天四九六番  
轉賬備金 新京四五二番

滿洲文化普及會  
介紹各種優良書籍

書名	定價	郵費	對日譯滿	實用日語會話	全	定價	郵費
國民高等學校 師道學校 日本語讀本(譯註本)卷一	四角	二分半	新對譯 對日譯滿	女子實用日語新典	全	八角	五〇
師道學校 日本語讀本(譯註本)卷一	五角	四分	漢譯	日本尺讀大全	全	一圓二角	七・五
勸業的 標準日本語讀本 卷一	五角	二分半	漢字	模範日語辭典	全	一圓三角	七・〇
勸業的 標準日本語讀本 卷二	六角	四分	索引	模範日語辭典	全	一圓三角	七・〇
新撰 日本語讀本 正篇	三角五分	二分	學生自習	模範辭典	全	九角	七・五
初等 日語讀本譯註本 卷一	二角五分	二分	民衆學校國語讀本 第一册		全	八角	二・〇
初等 日語讀本譯註本 卷二	二角五分	二分	民衆學校國語讀本 第二册		全	八角	二・〇
初等 日語讀本譯註本 卷三	三角五分	二分	民衆學校修身課本		全	一角	二・〇
初等 日語讀本譯註本 卷四	三角五分	二分	民衆日本語課本		全	一角八分	二・五
中等 日語讀本譯註本 卷一	三角五分	二分	民衆算術課本		全	一角四分	二・〇
中等 日語讀本譯註本 卷二	三角五分	二分	民衆珠算課本		全	一角二分	二・〇
中等 日語讀本譯註本 卷三	四角五分	二分	民衆字課本		全	一角二分	一・〇
高級小學校 日本語教科書(譯註本) 上册	二角五分	二分	1 教育叢書 勞作教育之原理與實際		全	五角	二・五
高級小學校 日本語教科書(譯註本) 下册	二角五分	二分	2 教育叢書 手工教育之原理與實際		全	七角	五・〇
初級中學校 日本語教科書(譯註) 上册	三角	二分	3 教育叢書 學校體操之原理與實際		全	一圓	七・五
初級中學校 日本語教科書(譯註) 下册	三角五分	二分	4 教育叢書 自然教育之原理與實際		全	六角	二・五
日滿對 譯解註 日本語趣味讀本 正篇	三角五分	二分	5 教育叢書 修身教育之原理與實際		全	五角	二・五
日滿對 譯解註 日本語趣味讀本 續篇	四角五分	二分	6 教育叢書 地理教育之原理與實際		全	六角	二・五
簡易 日本語讀本 全	一角	一分	7 教育叢書 國語教育之原理與實際		全	六角	二・五
警察 日語會話 全	七角五分	五分					
鐵路 日語會話 全	七角	五分					
新刊 日語研究寶鑑 全	一圓五角	七・五					

滿洲圖書文具株式會社發行

奉天千代田通四〇



國家圖書館



001709619

